

Scientific WorkPlace[®],
Scientific Word[®],
and
Scientific Notebook[®]

Version 5.5

インストールガイド
改訂第八版

目次

はじめに	2
1 SWP/SW/SN 5.5J をインストールする前に	3
1.1 インストール前の確認事項	3
1.2 まだ旧バージョンがインストールされている	3
1.3 一般の LaTeX のシステム (TeXLive, W32TeX など) がインストールされている	4
1.4 インストールしたい PC の OS が Windows10 である	4
1.5 5.5J のデモ版を製品版に切り替える	5
重要!! プログラムを管理者として実行する	6
2 SWP/SW/SN 5.5J 本体のインストール	8
3 ライセンスファイルの取得	15
3.1 ライセンスファイルとは	15
3.2 ライセンスファイルの取得	15
3.3 インターネットを利用したライセンス登録	16
3.4 登録申請用のファイルを利用したライセンス登録	19
3.5 ライセンス状態の確認	23
4 SWP/SW/SN 5.5J 本体の動作確認	24
4.1 SWP/SW 英語文書用の動作検証	24
4.2 SN 動作検証	25
5 p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) のインストールと動作検証	26
5.1 p ^L A ^T E _X (日本語用 T _E X システム) のインストール	26
5.1.1 p ^L A ^T E _X (日本語用 T _E X システム) のアンインストール	26
5.1.2 p ^L A ^T E _X (日本語用 T _E X システム) のインストール	26
5.2 dviout の初期設定	31
5.3 SWP/SW を使用した p ^L A ^T E _X の動作検証	34
5.4 日本語文書のタイプセット時の注意	34
5.4.1 保存形式について	34
5.4.2 文字コードについて	34
5.4.3 保存ファイル名と保存フォルダ名について	34
5.4.4 既存の SWP/SW 文書の扱い	35
6 追加情報	35
6.1 PC の移行について	35
6.2 WMF2EPS	36
7 テクニカルサポート	36

はじめに

【重要！】 *Scientific WorkPlace (SWP)* , *Scientific Word (SW)* および *Scientific Notebook (SN)* のバージョン 5.5 (日本語と英語の両方) の株式会社ライトストーンでのサポートは 2019 年 9 月 30 日をもって終了となりました。インストール方法や使用方法をお問い合わせいただいても回答いたしかねます。ご了承ください。

このマニュアルは *Scientific WorkPlace (SWP)* , *Scientific Word (SW)* および *Scientific Notebook (SN)* のバージョン 5.5J (Build2952 日本語版) のインストール, ライセンス取得, 動作確認の方法などを解説します。5.5J の主な新機能は次の通りです。

- 日本語文書用新ドキュメントクラス **jsarticle, jsbook** のサポート [SWP/SW]
従来の **jarticle, jbook, jreport** に比べ種々の改良が施されている他, フォントサイズや用紙サイズを選択肢の拡大, スライド作成機能, 用紙設定の自動化機能等, 新たな機能が加わっています。
- Non-SWP/SW \LaTeX フィルタのサポート [SWP/SW]
Native \LaTeX コードの取り込み能力が大幅に強化されています。
- 数式処理機能の強化 [SWP, SN]
MuPAD3.1 数式処理エンジンのサポートにより, アニメーションを含むグラフィックス機能が一段と強化されています。
- スタイルファイルやシェルファイルの刷新 [SWP/SW/SN]

SWP と SW には製品本体の他に, 日本語用タイプセットで使用する $\text{p}\LaTeX$ (Web2C-7.5.3 Kpathsea-3.5.3) と日本語文書のタイプセット結果 (DVI ファイル) をプレビューする **dviout.exe** (Ver.3.16) , さらに Adobe Systems 社の Adobe Reader が収録されています。

セクション 1 は製品のインストール前に行う確認事項です。

セクション 2 では製品のインストール方法を解説します。

セクション 3 ではライセンス取得方法を解説します。

セクション 4 では英語タイプセットにおける動作確認方法を解説します。

セクション 5 では $\text{p}\LaTeX$ (日本語 $\text{T}\LaTeX$ システム) のインストール方法と, SWP および SW での日本語タイプセットにおける動作確認方法と, 日本語文書のタイプセット時における注意事項を解説します。

セクション 6 では PC の移行方法と, WMF2EPS に関する情報が記載されています。

セクション 7 では製品の操作に関する学習方法とテクニカルサポートへの連絡について記載されています。

$\text{p}\LaTeX$ の Windows 版インターフェイス **WinForme** は株式会社 ライトストーンによって開発されたプログラムです。 $\text{T}\LaTeX$ ファイルを, **WinForme** を通して $\text{p}\LaTeX$ でタイプセットし, 画面に表示します。さらに **dviout.exe** を使用した DVI ファイルのプレビュー, **dvipsk.exe** を使用した PS ファイルへの変換, **dvipdfmx.exe** を使用した PDF ファイルへの変換などが可能です。

CD-ROM の作成にあたり, ご助言いただきました三重大学 奥村晴彦氏に厚く感謝いたします。また, $\text{p}\LaTeX$ および **dviout** の収録にあたりご協力いただきました近畿大学角藤亮氏ならびに, 東京大学 大島利雄氏にも心より感謝いたします。

Scientific WorkPlace, Scientific Word, Scientific Notebook は MacKichan Software 社の登録商標です。 Maple は Waterloo Maple 社の登録商標です。 MuPAD は SciFace 社の商標です。 Windows は Microsoft 社の登録商標です。 Adobe, Acrobat は Adobe Systems 社の商標です。

本書は *Scientific WorkPlace* と $\text{p}\LaTeX$ を利用して作成しました。

株式会社 ライトストーン
2005 年 10 月
(2019 年 9 月改訂)

1 *Scientific WorkPlace, Scientific Word, Scientific Notebook 5.5J* をインストールする前に

SWP/SW/SN 5.5J を PC で使用するためのセットアップ手順は大まかに以下の通りです。

1. SWP と SW で PDF タイプセットを行うための Adobe (Acrobat) Reader のインストール
2. SWP/SW/SN 5.5J 本体のインストール
3. SWP/SW/SN 5.5J 本体でライセンスファイルの取得
4. SWP と SW で日本語タイプセットを行うための pL^AT_EX のインストール
5. 動作確認

重要! 本書では Microsoft 社がサポートを終了した Windows XP などの古い Windows へのインストールは解説していません。

重要! 本書では *Scientific WorkPlace* を例にします。SW, SN を購入されたお客様は該当の製品に読み替えてください。また製品はデフォルトのままインストールした状態で説明します。製品のデフォルトのインストール先は SWP は c:\swp55, SW は c:\sw55, SN は c:\Program Files\Scientific Notebook もしくは c:\Program Files(x86)\Scientific Notebook です。本書中にあるプログラムフォルダという言葉はこのフォルダのことを指します。

1.1 インストール前の確認事項

次のいずれかの項目に該当するユーザはプログラムのインストール前に適切な操作を行い、プログラムのインストールを実行してください。

- まだ旧バージョンがインストールされている (次のセクションへ)
- 一般の LaTeX のシステム (TeXLive, W32TeX など) がインストールされている (4 ページへ)
- インストールしたい PC の OS が Windows10 である (4 ページへ)
- 5.5J のデモ版を製品版に切り替える (5 ページへ)

これらの項目に該当しないユーザは 8 ページへ進み、プログラムのインストールを開始してください。

1.2 まだ旧バージョンがインストールされている

製品の旧バージョンが PC にインストールされている場合は、旧バージョンをアンインストールしてから 5.5J をインストールしてください。旧バージョンがインストールされている PC に 5.5J をインストールすると、旧バージョンでのタイプセットなどで文字化けが発生する可能性があります。また未知の不具合が発生する原因にもなりえます。旧バージョンのアンインストールはコントロールパネルから行います。次の手順にしたがって操作してください。

1. Windows のスタートメニューから [コントロールパネル] を選択します。
2. [プログラムのアンインストール] もしくは [プログラムと機能] (Windows XP ではプログラムの追加と削除) を選択します。
3. インストールされている旧バージョンを選択してアンインストールと変更 (Windows XP では変更と削除ボタン) をクリックします。アンインストールプログラムが開始されたら、画面の指示にしたがって操作します。

補足 プログラムのアンインストールまたは変更ダイアログのリストにプログラム名が表示されていない場合

Windows のスタートメニューから旧バージョンを起動できるのに、アンインストールまたは変更ダイアログボックスに旧バージョンが表示されてない場合があります。これを正常な状態にして旧バージョンにアンインストールするためには、もう一度旧バージョンの CD-ROM から上書きインストールします。

重要! 5.5J に搭載されている数式処理エンジンは MuPAD です。旧バージョンで Maple をご利用になっている方は 5.5J でも Maple を利用することができます。旧バージョンをアンインストールする前に、次の操作手順に従って Maple を利用できるようにします。フォルダ名やバージョンはお持ちのバージョンによって異なりますので読み替えてください。SWP を例にします。旧バージョンは 4.1 を例にします。

1. c:\swp41 フォルダにある mapleoem.dll と c:\swp41\Maple フォルダを中身を含めて旧バージョンのアンインストールや 5.5J のインストールで影響を与えないデスクトップやマイドキュメントなどのフォルダにコピーします。
2. 下記の手順に従って旧バージョンをアンインストールし、5.5J をインストールします。
5.5J をデフォルトの設定でインストールするとプログラムフォルダとして c:\swp55 というフォルダが作成されます。
3. c:\swp55 に先程コピーした mapleoem.dll と Maple フォルダを移動します。
4. SWP を起動します。
5. 「ツール：ユーザ設定」を選択し、ファイルタブを選択します。
6. フォルダグループのファイルの種類から Maple ライブラリを選択し、c:\swp55\Maple と設定します（デフォルトでは設定されています）。
7. 同じくフォルダグループのファイルの種類から今度は Maple カーネルを選択し、c:\swp55 と設定します（デフォルトでは設定されています）。
8. OK ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
9. 「ツール：数式処理」を選択し、計算エンジンの設定タブで Maple に変更し、OK ボタンをクリックします。

エラーが表示されない場合、Maple のコピーに成功したことになります。

1.3 一般の LaTeX のシステム (TeXLive, W32TeX など) がインストールされている

SWP/SW の日本語 TeX システムは TeXLive や W32TeX など一般の L^AT_EX システムと競合するため、同一の PC に混在させることはできません。SWP/SW をインストールする前に一般の L^AT_EX システムを全てアンインストールしてください。

1.4 インストールしたい PC の OS が Windows10 である

Windows 10 へインストールする場合はインストールする前に Windows 10 のバージョンをご確認ください。確認方法は以下の通りです。

1. Windows 10 のデスクトップ画面左下のスタートボタンをクリックします。
2. [設定] をクリックします。
3. 「Windows の設定」ウィンドウが表示されますので、[システム] をクリックします。
4. 「システム」画面が表示されますので、左側の項目から [バージョン情報] をクリックします。
5. 「バージョン」の項目の数字を確認します。

補足 バージョン情報画面でバージョンが確認できない場合は、キーボードの [Windows] キーと [R] キーを同時押しと表示される「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで「winver」と入力して OK をクリックします。すると上記手順とは異なるバージョン情報のウィンドウが表示されますのでこちらで確認します。

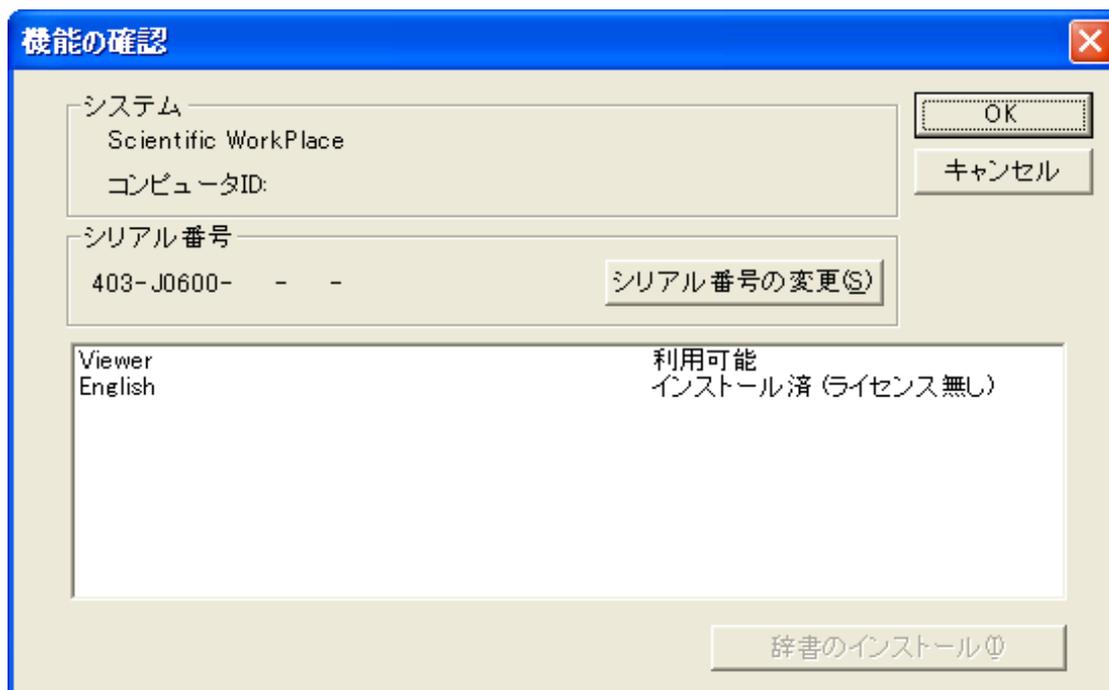
1.
 - バージョンが「1709」以降の場合：問題ありませんのでそのまま SWP/SW/SN のインストール (8 ページ) へお進みください。
 - バージョンが「1703」以前の場合：バージョン「1703」の環境では Windows の不具合により SWP/SW/SN が正常に動作しません。Windows Update を行い、バージョン「1709」以降へ更新してから SWP/SW/SN のインストールへお進みください。Windows Update の利用手順等は以下のページをご覧ください。

https://www.lightstone.co.jp/latex/support_win10.html

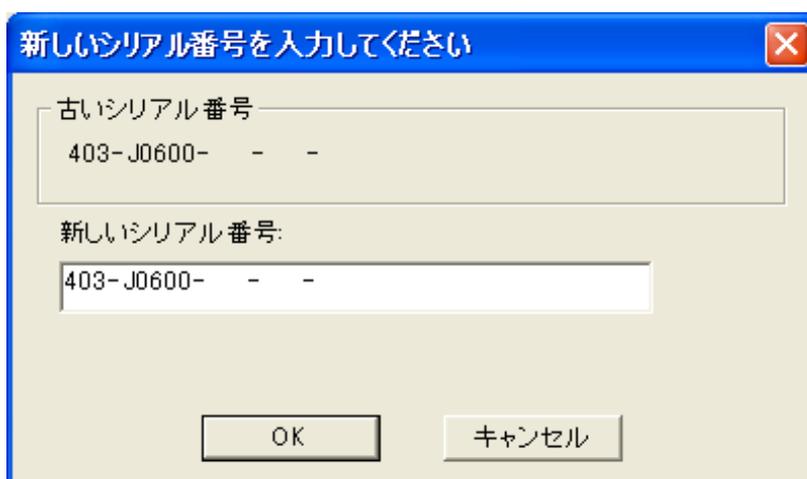
1.5 5.5J のデモ版を製品版に切り替える

5.5J のデモ版を既にインストールして利用していた場合は、製品版のライセンスファイルを取得するだけでデモ版から製品版へ移行できます。製品版をインストールするためにデモ版をアンインストールする必要はありません。

1. SWP/SW/SN が終了している状態で、Windows のエクスプローラなどからプログラムフォルダに移動します。
2. プログラムフォルダにある Licenses フォルダから、デモ版を利用する際に取得したライセンスファイル license.lic を削除します。
3. 製品を「管理者として実行」で起動します。プログラムを「管理者として実行」する方法は 6 ページを参照してください。
4. [ヘルプ] メニューから [機能の確認] を選択します。



5. [シリアル番号の変更] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスに製品版のシリアル番号を入力します。CD-ROM ケースに製品版のシリアル番号シールが貼られています。



6. [OK] ボタンを 2 回クリックして操作画面に戻ります。
7. [ヘルプ] メニューから [登録] を選択して、デモ版用のライセンスファイルを取得した時と同じ要領で製品版のライセンスファイルを取得します。

重要!! プログラムを管理者として実行する

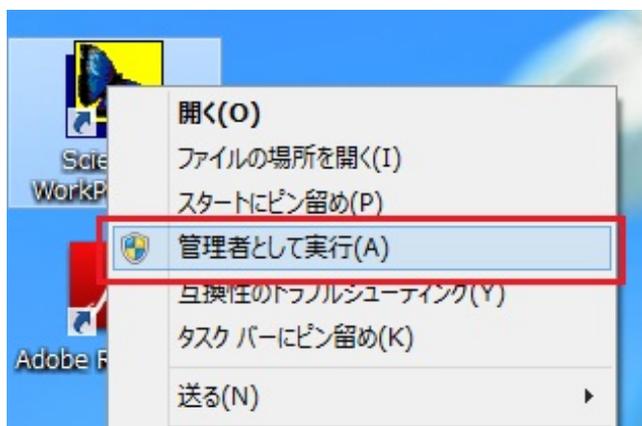
近年の Windows はセキュリティ強化のために、システムの重要な箇所への書き込みや変更を加える場合に管理者権限が必要となっています。管理者アカウントでサインインしていても、プログラムを通常起動した場合は標準ユーザの権限で動作するため、管理者権限でプログラムを動作させるには意図的に「管理者として実行」を行う必要があります。

注意 以下の操作の途中で「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示された場合は [はい] または [続行] をクリックします。パスワードを要求された場合は管理者用のパスワードを入力してください。管理者用のパスワードはお客様が Windows に対して設定するものですので、弊社では分かりかねます。お客様がセッティングした PC でない場合は、お客様の PC を管理されているシステム管理者にお問い合わせください。

Windows 7 の場合 以下のどちらかの操作を行います。

- デスクトップにある目的の製品のショートカットアイコンを右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。
- デスクトップにアイコンが無い場合は、Windows のスタートメニューから [すべてのプログラム] にある目的のプログラムを右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。

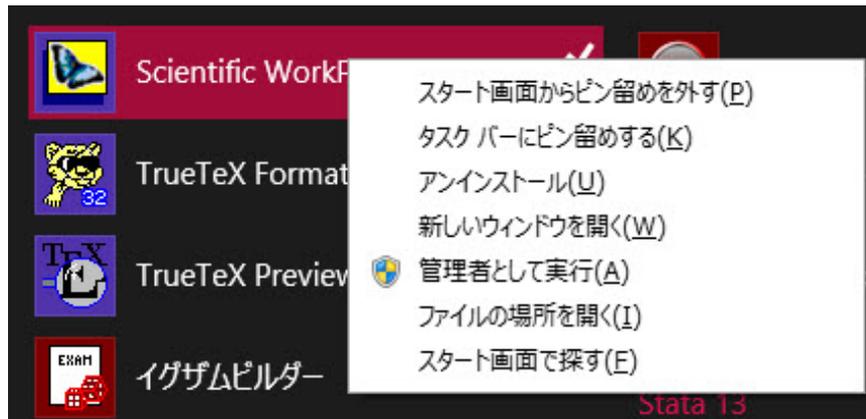
Windows 8 の場合 以下の 3 つの画像を参考に、いずれか 1 つの操作を行ってください。



デスクトップ表示の場合はショートカットアイコンを右クリック

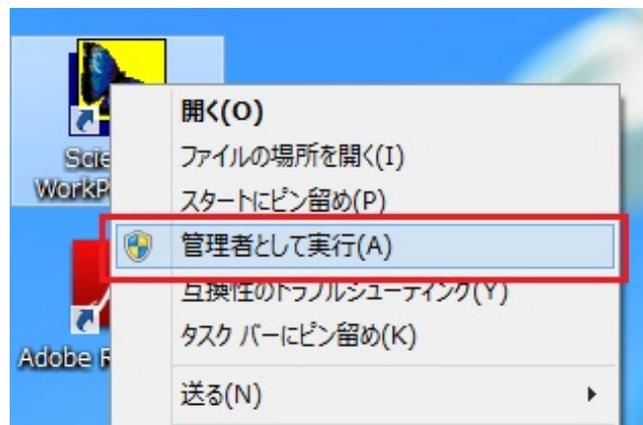


タイル表示の場合はタイルを右クリック

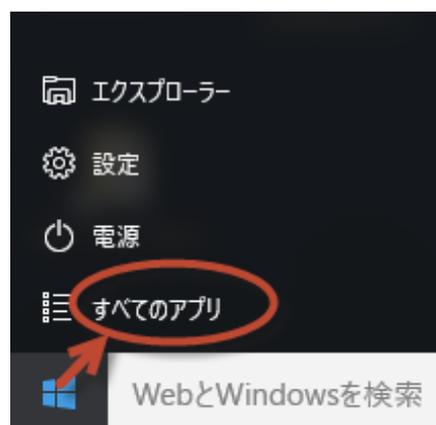


アプリ表示の場合はアプリを右クリック

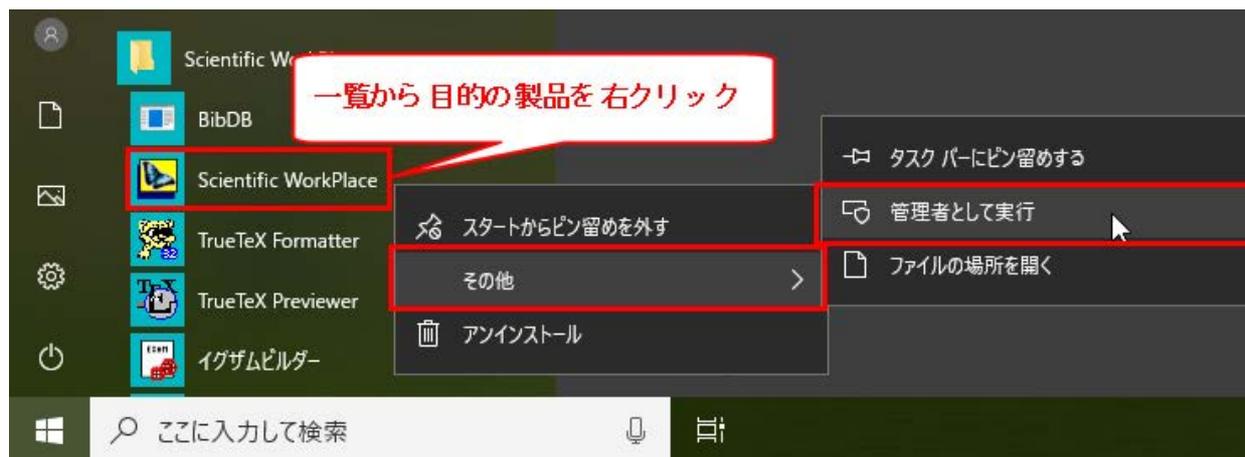
Windows 10 の場合 以下の 3 つの画像を参考に、いずれか 1 つの操作を行ってください。



デスクトップ表示の場合はショートカットアイコンを右クリック



デスクトップにない場合は [すべてのアプリ] よりプログラムを探して右クリック；その他：管理者として実行



デスクトップにない場合はスタートメニューのプログラムの一覧よりプログラムを探して右クリック：その他：管理者として実行

2 Scientific WorkPlace, Scientific Word, Scientific Notebook 5.5J 本体のインストール

重要！ セキュリティソフトの誤動作によりインストールが正常に完了しない事例が報告されています。可能であればインストーラを起動する前に、お使いのセキュリティソフトを停止させ、(PCの安全のため) インターネット接続を切断してください。インストール後は手順に従いPCを再起動し、セキュリティソフトが有効に動作していることを確認してからインターネットに再接続してください。

重要！ 昨今は文書をDVI形式で閲覧・提出することがほぼなくなり、最終的な成果物はPDFが主流となっています。そのためSWP/SW 5.5JのPDFタイプセット機能を使用しますので、**これ以降のSWP/SWのインストール手順を行う前にAdobe (Acrobat) Reader もしくは Adobe Acrobat のインストールを実施してください。**

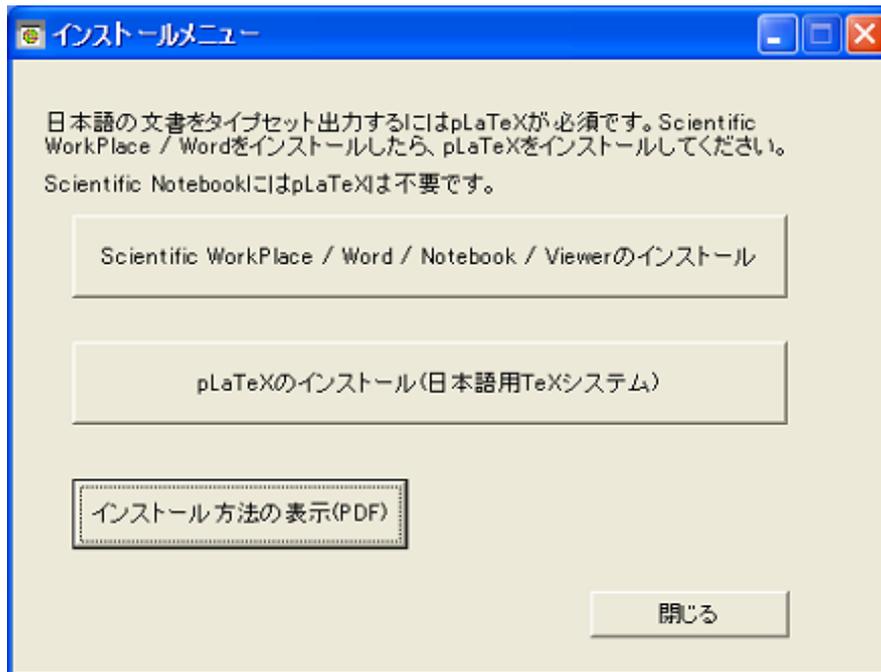
最新のAdobe (Acrobat) Readerは以下のページからインストールすることができます。(2018年5月現在)

インストールページに記載されている「提供オプション」のソフトウェアは不要ですので、チェックを外してからインストールを行ってください。

Adobe (Acrobat) Readerのインストール方法はAdobe Systems社へお問い合わせください。

<https://get.adobe.com/jp/reader/>

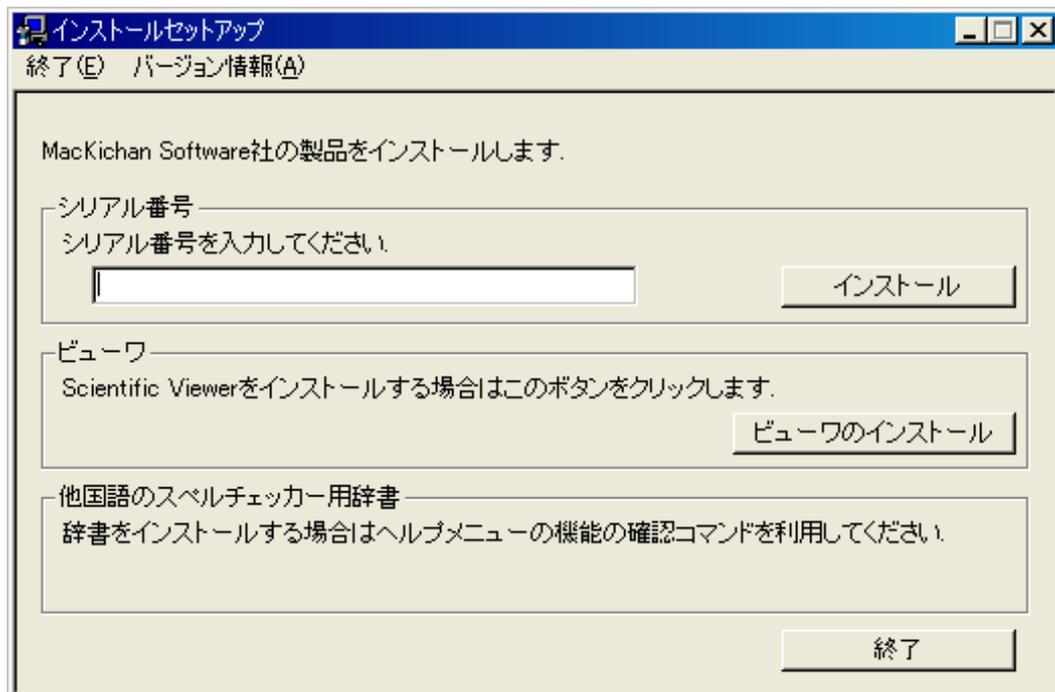
製品CD-ROMにはSWP/SW/SN本体のほかに、pL^AT_EX(日本語TeXシステム)、マニュアルを表示するためのAdobe Readerなどが収録されています。製品CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、インストールするプログラムを選択するための以下のメニュー画面が表示されます。



このメニュー画面が表示されない場合は、Windows のエクスプローラなどを使用して製品 CD-ROM にある SWPInst.exe をダブルクリックします。メニュー画面が表示されましたら、[Scientific WorkPlace/Word/Notebook/Viewer のインストール] ボタンをクリックします。

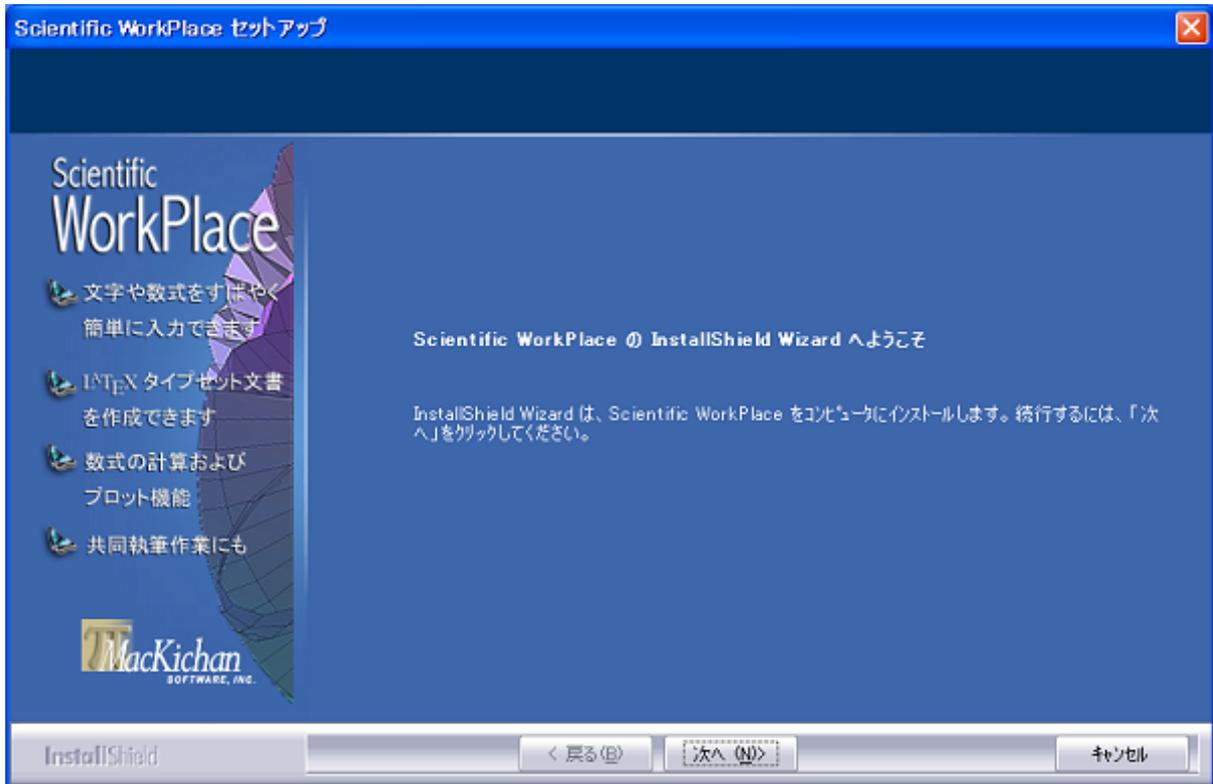
1. インストールセットアップ

購入した製品のシリアル番号をハイフンを含めてすべて入力し、[インストール] ボタンをクリックします。正しいシリアル番号であればインストーラが起動します。このダイアログが表示されない場合は製品 CD-ROM の mackichan フォルダにある Setup.exe をダブルクリックします。



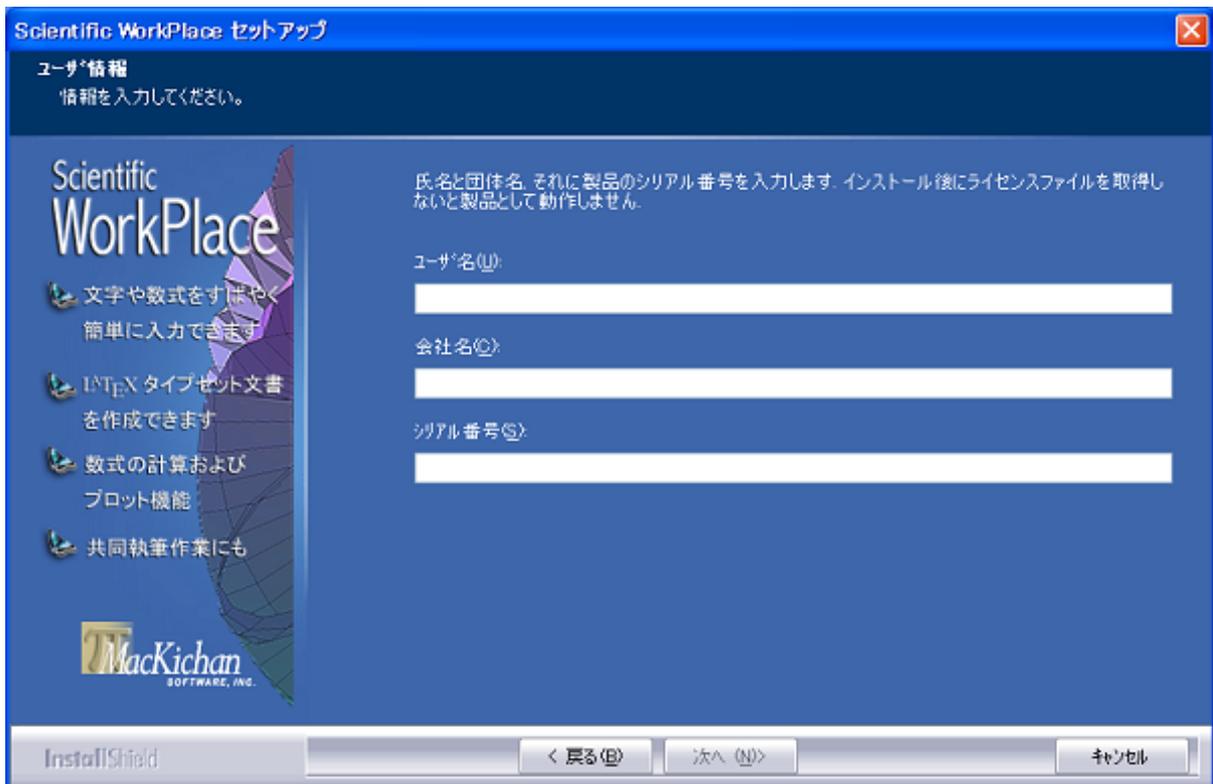
2. 初期画面

[次へ] のボタンをクリックします。



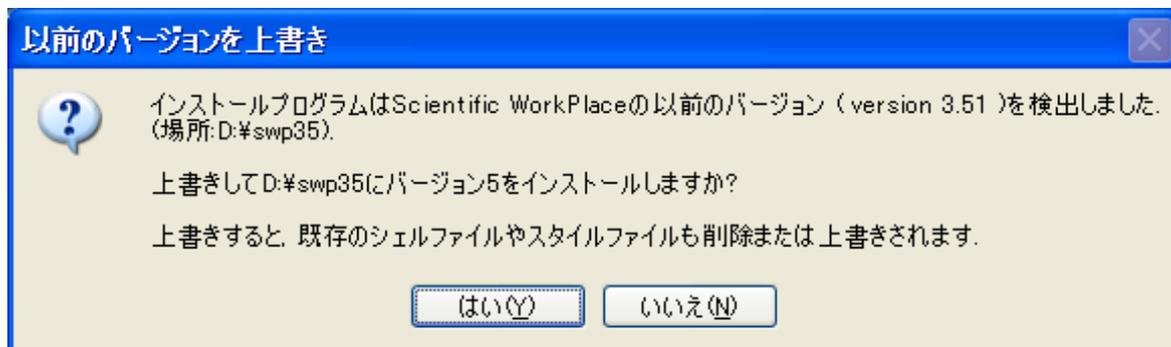
3. ユーザ情報

ユーザ情報のダイアログにユーザ名、会社名、シリアル番号が表示されます。誤りがあればこの画面で訂正します。

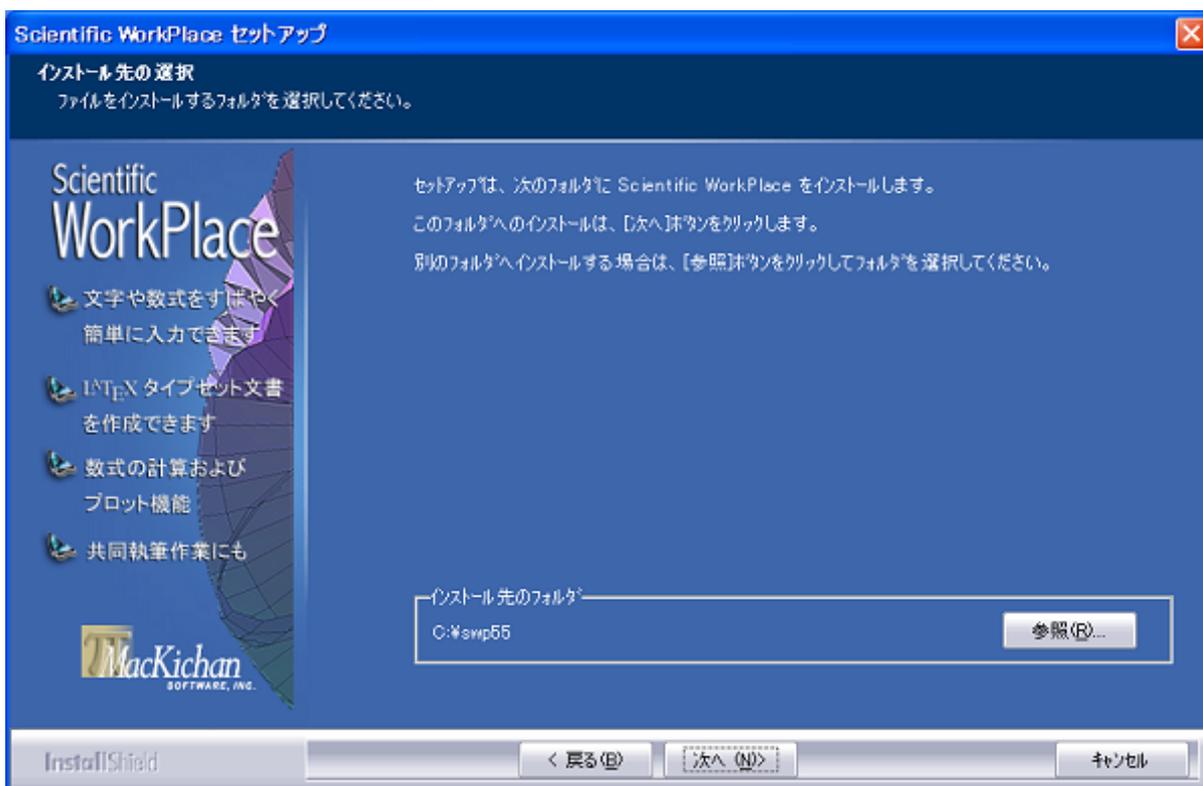


4. インストール先の選択

重要！ 旧バージョンをアンインストールせずにインストールを始めると次のダイアログボックスが表示されます。3ページにあるように、新旧バージョンが混在すると不具合が発生する原因となりますので、5.5J のインストールを中断し、旧バージョンをアンインストールしてから 5.5J をインストールしてください。



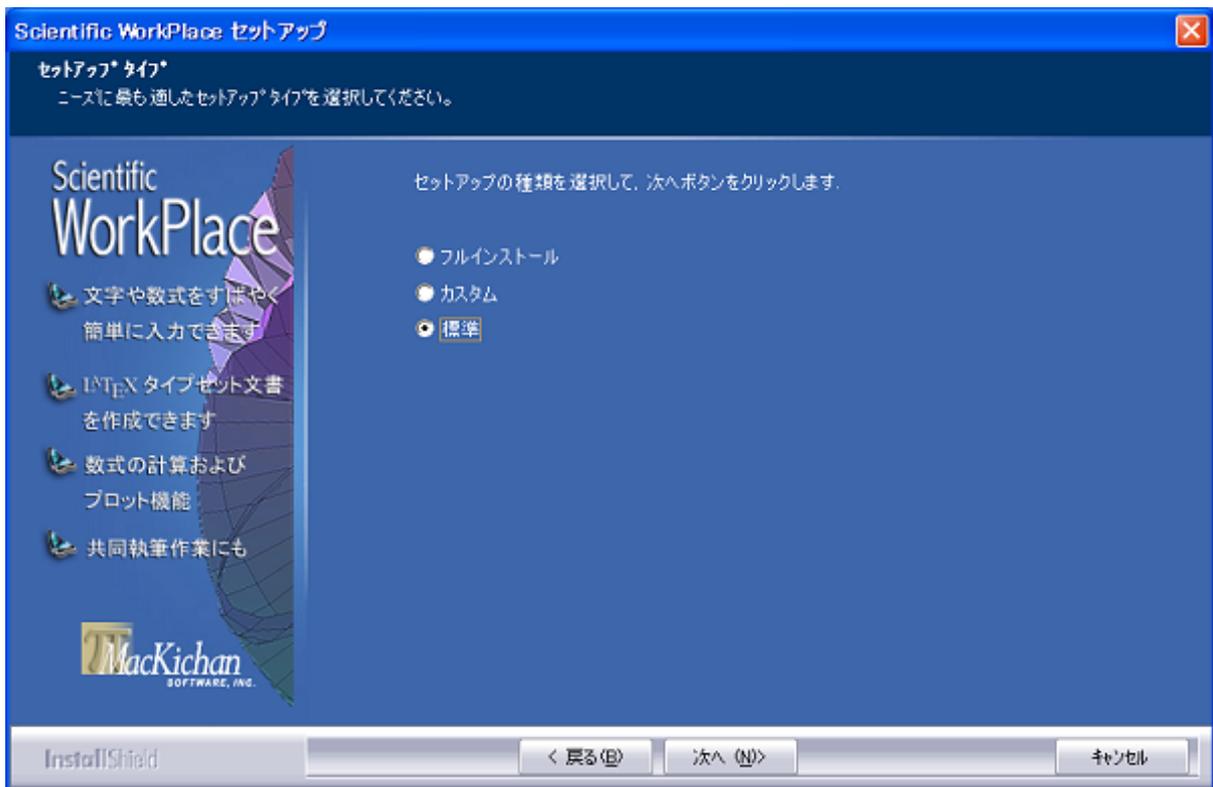
インストールするフォルダを選択します。原則としてデフォルトの `c:\swp55` から変更しないでください。例えば、これを通常プログラムをインストールする Program Files の下に変更すると、SWP や SW の起動と文字入力にはできますが、タイプセット機能の実行でエラーが発生します。TEX システムでフォルダ名に使用できるのは半角英数字とハイフン (-) のみです。また半角スペースを入れることもできません。デフォルトのインストール先を推奨します。ただし、SN にはタイプセット機能がありませんので、デフォルトのインストールフォルダは Program Files の下になります (64bitOS の場合は Program Files(x86))。



5. セットアップタイプ

セットアップには3つの種類があります。通常はデフォルトの「標準」を選択します。「カスタム」はインストールするコンポーネントの意味を十分理解している上級ユーザー向けのオプションです。「フルインストール」では次の3つのファイルグループが「標準」に追加されます。

- * BibDB... 文献目録の作成で利用するデータベースプログラム。手作業で文献目録を記述する場合は不要です。標準インストールでも BibTeX を使用した文献目録の作成は可能です。
- * T3 ユーティリティ... 本プログラムの前身となるプログラムです。T3 で作成したデータファイルの変換用プログラムです。T3 を利用したことのない本製品のユーザであれば不要です。
- * Omega サポートファイル... 一つの文書に多言語を入力し、それをコンパイルして DVI ファイルを作成する Omega の関連ファイルですが、非常に古いシステムであるため、2018 年現在この機能を使用する場面はありません。



6. プログラムフォルダの選択

このダイアログボックスでは、Windows のスタートメニューにあるプログラムへ登録するフォルダ名を入力します。基本的にはデフォルトのまま [次へ] ボタンをクリックします。実際のインストールが開始されます。



7. インストール

インストールに際しては大量のファイルをコピーします。処理が停止しているように見える部分もありますが、しばらくお待ちください。[キャンセル] ボタンをクリックするとインストールが中断されてしまいますのでご注意ください。

拡張子 .dvi のファイルが dviout などの他のアプリケーションと関連付けられている場合に、それを TrueTeX Previewer に切替えるかどうかを確認するダイアログが表示されます。欧文書の作成が主体になる場合は [はい] を、日本語文書の作成が中心になる場合は [いいえ] を指定してください。

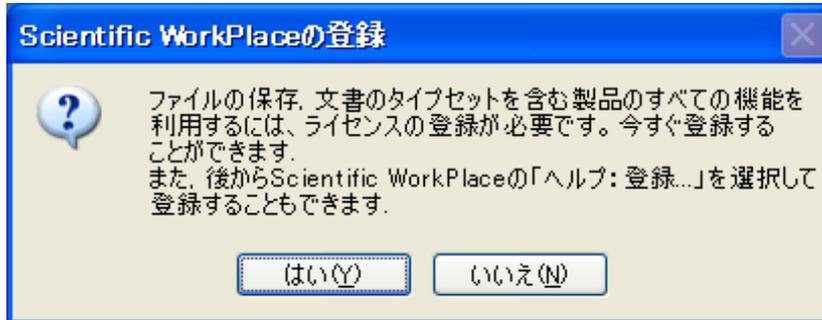


補足 インストールが途中で止まる場合

「TrueTeX TeX システムをインストールしています。この処理は少々時間がかかります...」という段階で、30 分以上経ってもインストールが完了しない場合があります。このセクションの冒頭に記載したようにセキュリティソフトがインストールを阻害していることが原因となっている可能性がありますので、まずインストールを中断し、その後にセキュリティソフトを無効にしてから再度インストールを実行します。再度止まってしまう場合はインストールを中断し、Windows をセーフモードで起動してからインストールを実行してください。Windows をセーフモードで起動する方法は PC のメーカーや Microsoft 社にお問い合わせください。

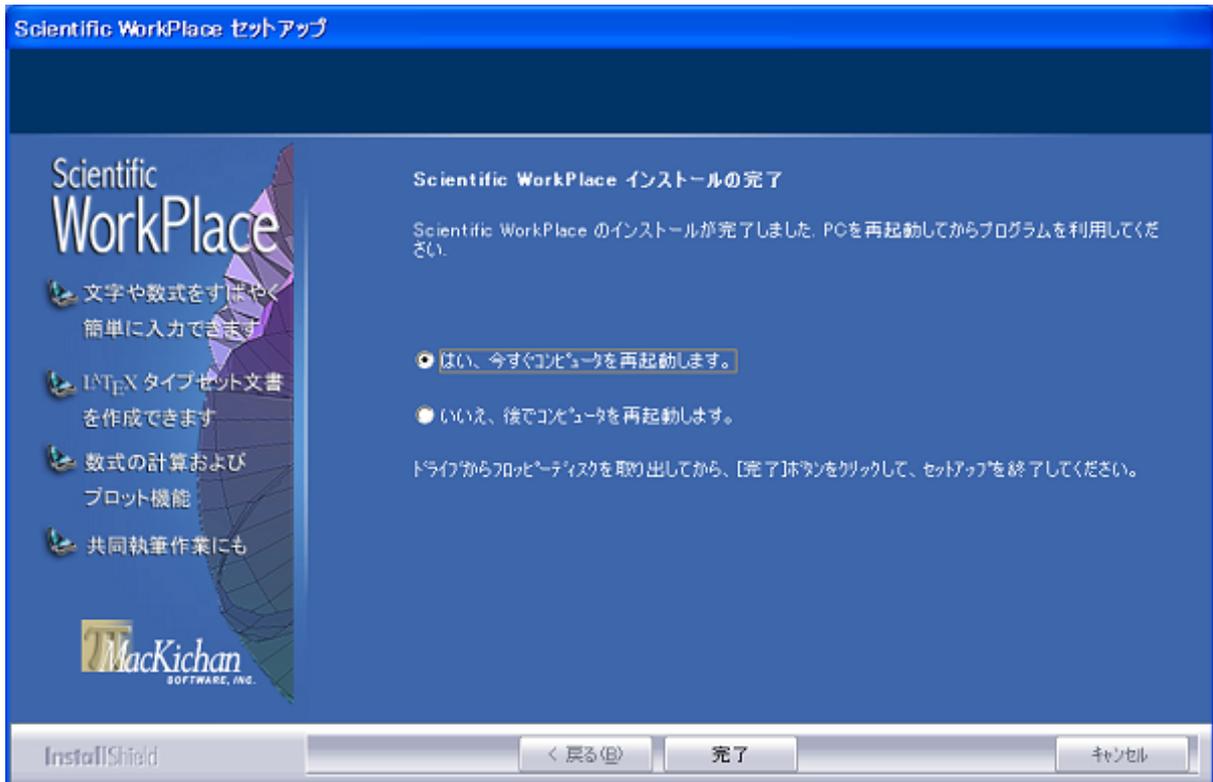
8. ライセンスの登録

製品のインストール終了直前、つまりコンピュータを再起動する前に次のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックするとライセンスを登録することができます。ライセンスファイルの取得方法については 15 ページを参照してください。[いいえ] ボタンをクリックするとステップ 9 へ進みます。ライセンス登録は後でも行うことができます。



9. 再起動

プログラムのインストールが終了すると、PC の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。PC を再起動してからでないとプログラムを利用できませんので PC を再起動してください。



3 ライセンスファイルの取得

3.1 ライセンスファイルとは

ライセンスファイルは SWP/SW/SN をインストールした PC の固有の ID 番号と、プログラムのシリアル番号から生成される 1 種のパスワードファイルで、製品のすべての機能を利用するために必ず取得しなければならないファイルです。

シングルライセンスの場合、会社や学校などの職場用、自宅用、モバイル用のノートパソコンなど、異なる場所であれば 3 台分までライセンスファイルを取得可能です。ただし、ライセンス許諾条件として複数の同時起動は許可していません。

PC の故障・変更などでインストール先の PC を変更したい場合の手続きについては 35 ページをご確認ください。

3.2 ライセンスファイルの取得

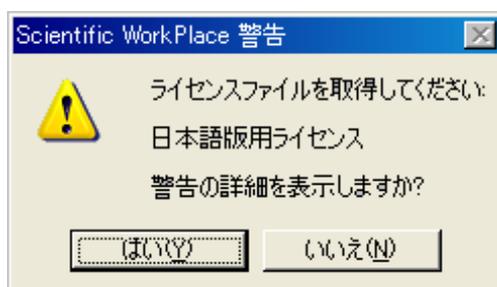
ここでは SWP を例にライセンスファイルの取得方法を説明します。インターネットに接続可能な環境ではインターネットを利用する取得方法を推奨します。

まず、インストール完了後に PC を再起動し、インストールした製品のデスクトップのショートカットアイコンまたは、Windows のスタートメニューからプログラムを選択して、「**管理者として実行**」で起動します。

補足 「管理者として実行」については 6 ページを参照してください。

補足 「**管理者として実行**」で起動しなかった場合は「システムレジストリを更新できません、許可しますか？」というメッセージが表示されます。このメッセージは「**管理者として実行**」で一度起動を行うと表示されなくなり、以後は通常起動でもメッセージは表示されません。

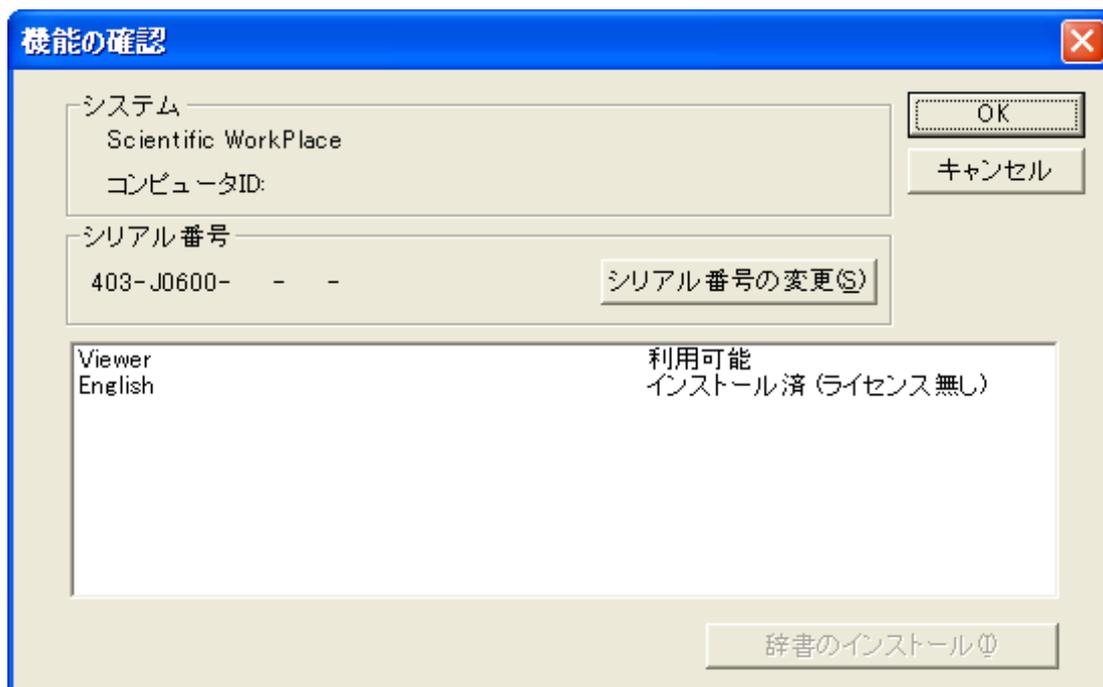
次のような警告メッセージが表示された場合は、[いいえ] ボタンをクリックして警告メッセージの詳細を飛ばします。



製品が起動しますが、ライセンスファイルの取得が完了していない状態では *Scientific Viewer* と同程度の機能しかありません。文書を開くことはできますが、例えば次の機能が利用できません。

- 文書を保存できません。
- タイプセットメニューが表示されません。したがって L^AT_EX コンパイルができません。
- 画像として選択部分をエクスポートする機能が利用できません。
- 他のシステムで作成した文書のインポート機能が利用できません。

また「ヘルプ：機能の確認」を選択しますと、現在利用できる機能の一覧が表示されます。ライセンスファイルを取得していない状態では次のダイアログボックスで示す機能しか利用できません。

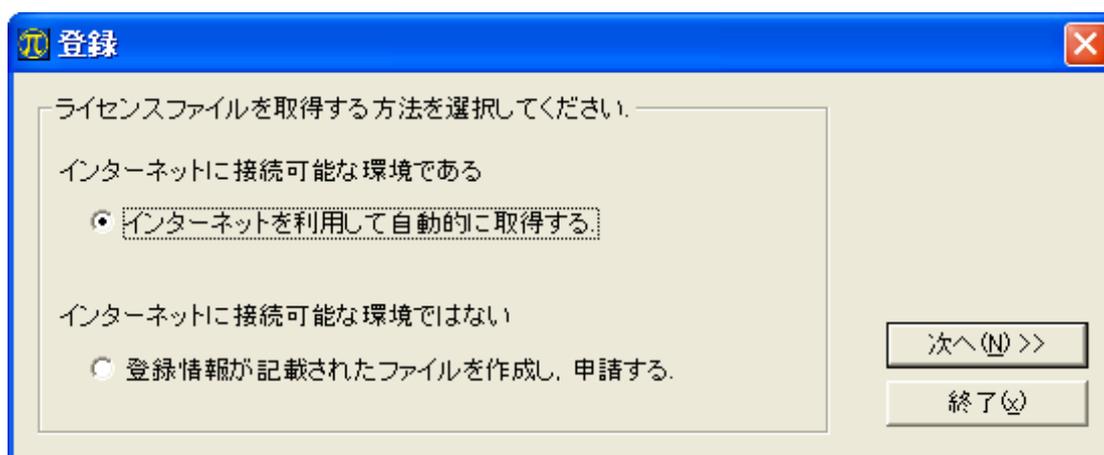


[OK] ボタンをクリックします。ライセンスファイルを取得すると、このダイアログボックスに利用可能な機能の一覧がリストアップされます。

それではライセンスファイルを取得します。まず上でお勧めしている、インターネットを使った方法を紹介し、次に登録申請用ファイルを作成してライセンスファイルを取得する方法を紹介し。

3.3 インターネットを利用したライセンス登録

1. PC をインターネットに接続してください。ライセンスファイルを取得したい PC がインターネットに接続できない場合は、この次の「登録申請用のファイルを利用したライセンス登録」の手順へ進んでください。
2. 製品の [ヘルプ] メニューから [登録] を選択すると、次のダイアログボックスが表示されます。14 ページの登録ダイアログボックスで [はい] ボタンをクリックした場合にも次のダイアログボックスが表示されます。



3. 「インターネットを利用して自動的に取得する」を選択して [次へ] ボタンをクリックします。
4. 登録情報ダイアログボックスが表示されます。
登録情報ダイアログボックスに必要な情報を入力します。日本語、英語のどちらで入力してもかまいません。必要な情報を入力したら OK ボタンをクリックします。

補足 実際にはコンピュータ ID, シリアル番号は入力されています。

登録情報

次の項目に情報を入力してください。シリアル番号と氏名は必ず入力してください。インターネットやE-mailにて申請する場合はE-mailアドレスが必要です。それ以外の項目の入力はオプションです。

コンピュータ ID: シリアル番号: 製品名:

オプションのスペルチェッカー用辞書のシリアル番号を入手済みの場合はここに入力します。

E-mailアドレス:

姓:

名:

大学/会社:

郵便番号: 国:

都道府県: 市/町:

町名/番地など:

ビル名など:

TEL:

FAX:

MacKichan-NEWS(英語)メーリングリストに登録す

(このフォームに当てはまらない情報は記述しないでくだ

OK 戻る

5. 使用許諾書が表示されます。使用許諾をよく読んだ上で「同意します」を選択して [OK] ボタンをクリックします。

使用許諾書

次に示す使用許諾書をよく読んでください。PAGE DOWNキーで画面をスクロールできます。使用許諾書の内容に同意できる場合のみ、登録作業を継続できます。

使用許諾書

MACKICHAN SOFTWARE社 (MacKichan社) は以下の条件に同意する場合にのみユーザに本ソフトウェアの使用を認めます。

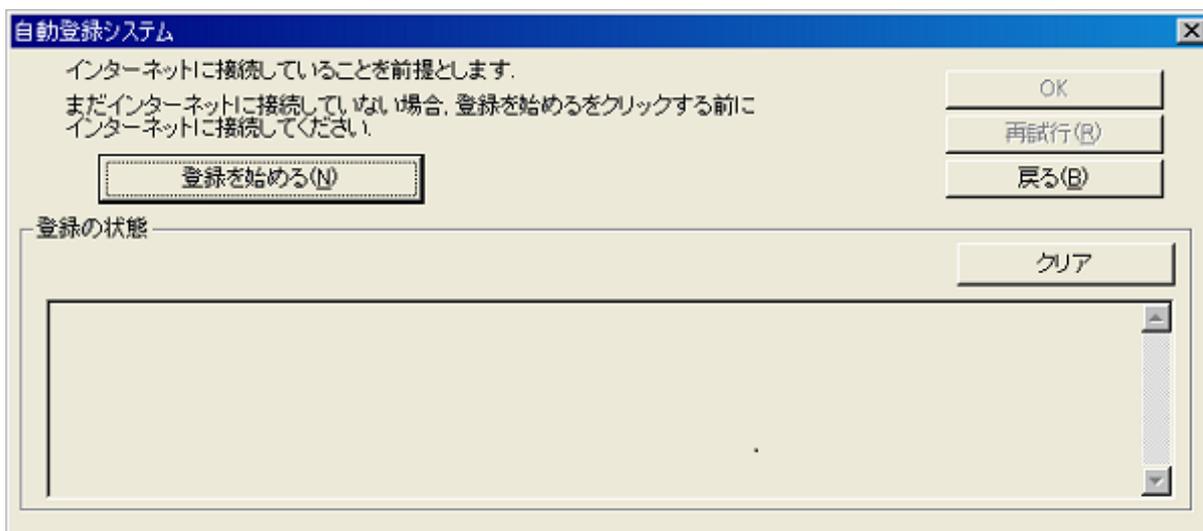
セクション 1
定義
1.1 製品ダウンロードまたはCD-ROMによって供給されたソフトウェア、ライセンス、Scientific WorkPlaceのマニュアルの事を「製品」と呼びます。さらに、MacKichan社から供給されるソフトウェアの訂正版や更新版、本許諾書の項目4.2、5.2、5.3で説明するようなものも製品の中に含まれるものとします。

同意します(A)
 同意しません(D)

戻る OK キャンセル

6. 自動登録システムダイアログボックスが表示されます。

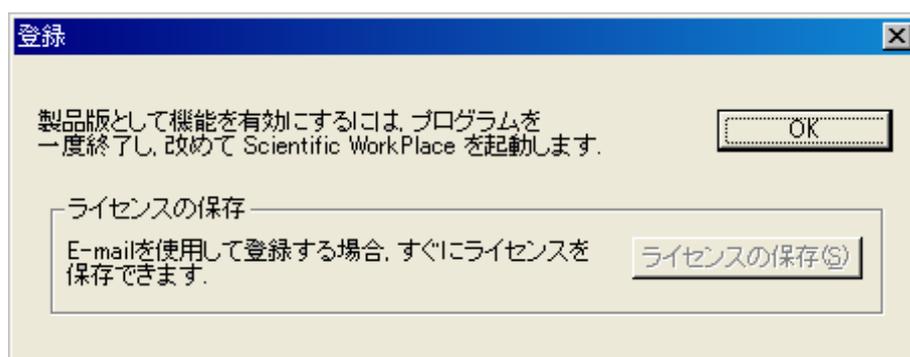
[登録を始める] ボタンをクリックします。自動的に入力したユーザ情報を基にしてライセンスを登録し、ライセンスファイルを作成します。



7. 次のメッセージが表示されたらライセンスの登録とライセンスファイルの取得が正常に完了しています。



[OK] ボタンをクリックすると自動登録システムを終了し、次のメッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックして閉じてください。このメッセージにあるように、作成されたライセンスファイルを有効にして製品のすべての機能を有効にするには、一度製品を終了して製品を再起動します。PC を再起動する必要はありません。



ライセンスファイルの取得が正常に完了した場合はセクション 3.5 に進んでください。ライセンスファイルの取得に失敗した場合は、以下のエラーの対処を行ってください。

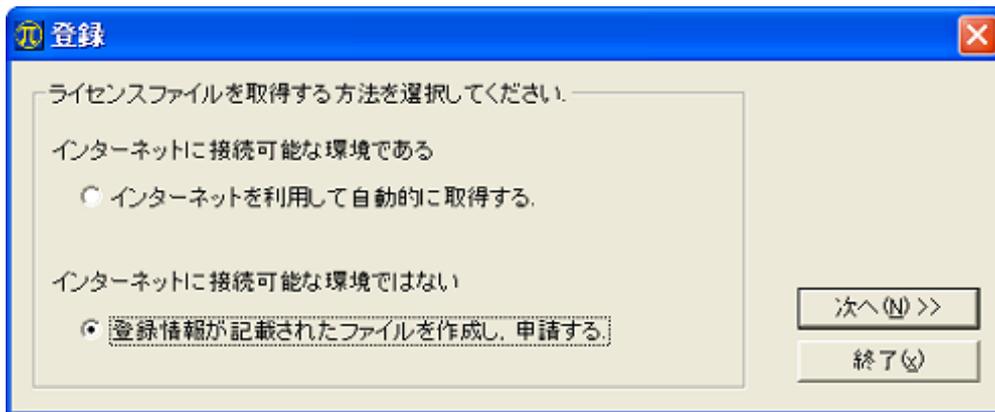
重要！ よくあるエラー

- 「リクエストの要求後、500 でエラーです。サーバーとの接続に失敗しました。」というエラーが表示された場合：入力したシリアル番号が誤っています。[ヘルプ] メニューの [機能の確認] で正しいシリアル番号に変更し、再度ライセンスファイルの取得を行ってください。

- 「サーバーから次のエラー (15) が送信されました」というエラーが表示された場合：ライセンス取得数の上限に達していますので、不要なライセンス登録情報の削除が必要となります。詳しくは本書の 35 ページ「6.1 PC の移行について」をご確認ください。

3.4 登録申請用のファイルを利用したライセンス登録

インターネットに接続していない環境の場合や、ファイアウォールの設定などによって自動登録システムによるライセンス登録に失敗する場合は、登録申請用のファイルを利用してライセンス登録を行うことができます。ただし、この方法でもインターネットに接続可能な PC が必須ですので、以下の説明では製品をインストールしたインターネットに接続できない PC を PC-A、インターネットに接続できる別の PC を PC-B として説明します。



[PC-A での操作]

1. 「登録情報が記載されたファイルを作成し、申請する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
2. 登録情報ダイアログボックスが表示されます。

登録情報ダイアログボックスに必要な情報を入力します。日本語、英語のどちらで入力してもかまいません。情報を入力したら [OK] ボタンをクリックします。

補足 実際にはコンピュータ ID、シリアル番号は入力されています。

登録情報

次の項目に情報を入力してください。シリアル番号と氏名は必ず入力してください。インターネットやE-mailにて申請する場合はE-mailアドレスが必要です。それ以外の項目の入力はオプションです。

コンピュータID: シリアル番号: 製品名:

オプションのスペルチェッカー用辞書のシリアル番号を手済みの場合はここに入力します。

E-mailアドレス:

姓:

名:

大学/会社:

郵便番号: 国:

都道府県: 市/

町名/番地など:

ビル名など:

TEL:

FAX:

MacKichan-NEWS(英語)メーリングリストに登録す

(このフォームに当てはまらない情報は記述しないでください)

OK 戻る

3. 使用許諾書が表示されます。使用許諾をよく読んだ上で「同意します」を選択して [OK] ボタンをクリックします。

使用許諾書

次に示す使用許諾書をよく読んでください。PAGE DOWNキーで画面をスクロールできます。使用許諾書の内容に同意できる場合のみ、登録作業を継続できます。

使用許諾書

MACKICHAN SOFTWARE社 (MacKichan社) は以下の条件に同意する場合にのみユーザに本ソフトウェアの使用を認めます。

セクション1
定義
1.1 製品ダウンロードまたはOD-ROMIによって供給されたソフトウェア、ライセンス、Scientific WorkPlaceのマニュアルの事を“製品”と呼びます。さらに、MacKichan社から供給されるソフトウェアの訂正版や更新版、本許諾書の項目4.2、5.2、5.3で説明するようなものも製品の中に含まれるものとします。

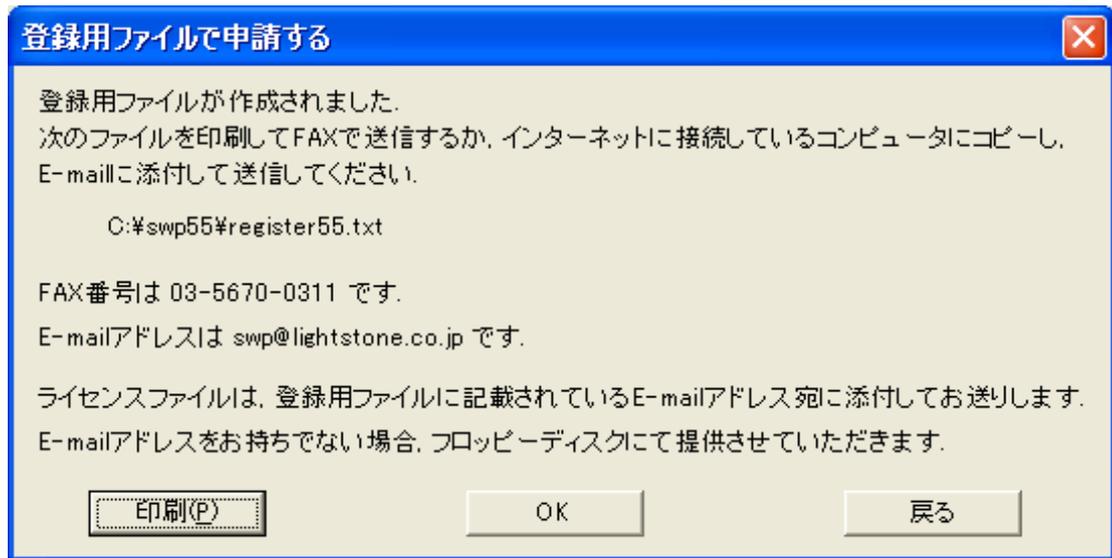
同意します(A)
 同意しません(B)

戻る OK キャンセル

4. 登録申請用ファイルが作成されます。

以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

重要! ウィンドウには電話やEメールで株式会社ライトストーンへ作成されたファイルを送るよう表示されていますが、サポート終了に伴いこの受付は終了しています。この次の手順でユーザー様自身でライセンスファイルの生成を行います。



- 手順 4 で作成された登録申請用のファイル C:\swp55\register55.txt を、インターネットに接続可能な PC-B へ USB メモリ等を使用して移動させます。

[PC-B での操作]

- 開発元 MacKichan Software 社のライセンスファイル生成用のページへアクセスします。
<http://licensing.mackichan.com/cgi-bin/registerform.exe>

- 登録申請用のファイル register55.txt を開き、手順 1 で開いたページの入力欄に転記します。[Program] と [Version] の選択を忘れないように注意してください。
- 入力を終えたら「Submit」ボタンをクリックすると、ライセンスファイルを生成したという画面が表示されます。

Thank you for registering Scientific WorkPlace.

For your convenience, we are sending you a copy of your license file.

If you used the automated web registration method with Version 5.0 or 5.5, your license is installed. Follow the install steps below if using a version earlier than Version 5.0. If for some reason you delete your current license file, you can register again, you can copy the text between the asterisks to a file named license.lic saved in the Licenses directory of your Scientific Word installation, or you can follow the steps listed below.

Your product serial number is included below. Protect your serial number.

If you lose your serial number you may not be able to use the program.

FEATURE

408-J0800-

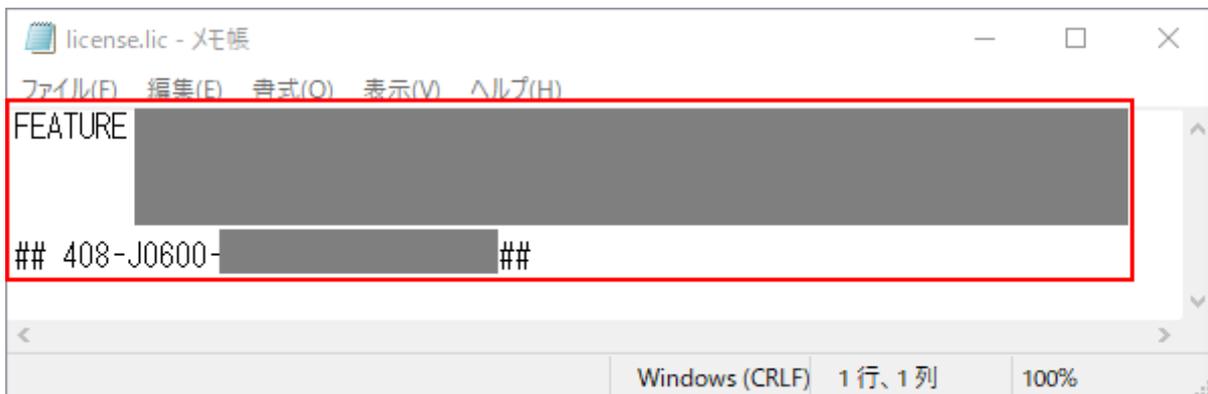
Your license file is specific to your computer. A new registration with the resulting license file is needed if you install on a different computer.

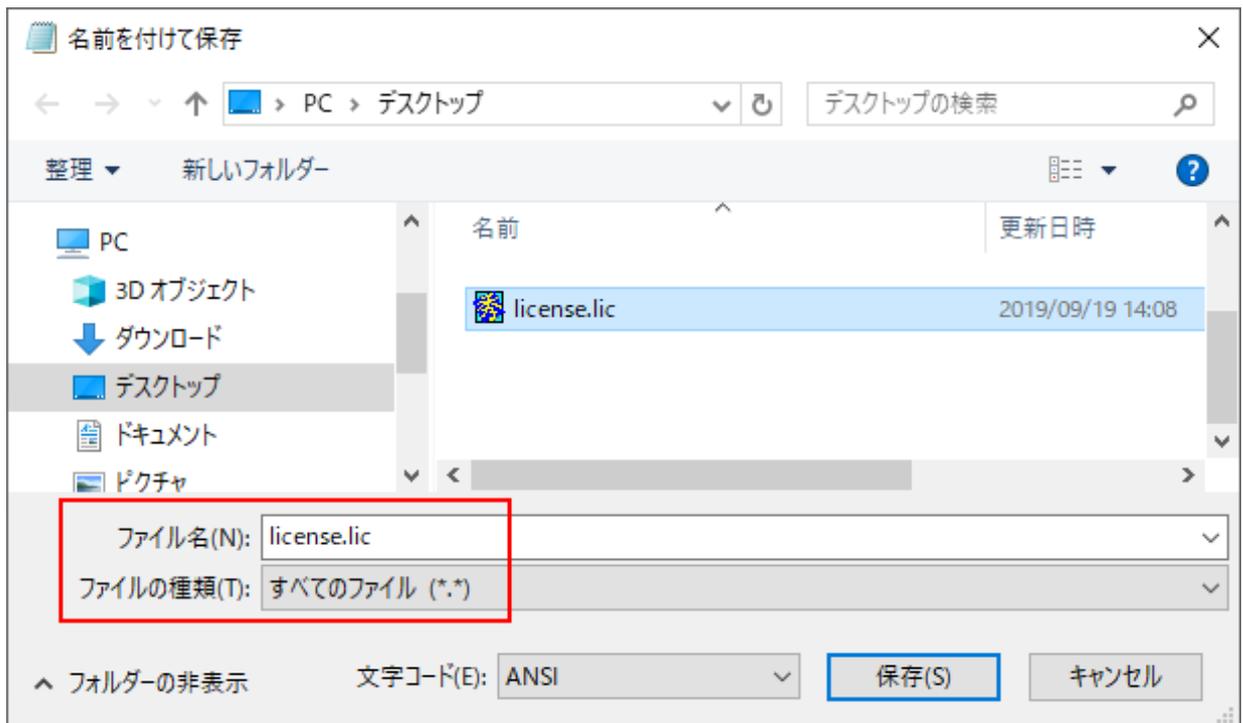
To install this license:

1. In this message window, go to Edit | Select All.
2. Go to Edit | Copy.
3. Close Scientific WorkPlace if it is running.
4. Start Scientific WorkPlace again.
5. You should see a message that states, "Your license has been updated."

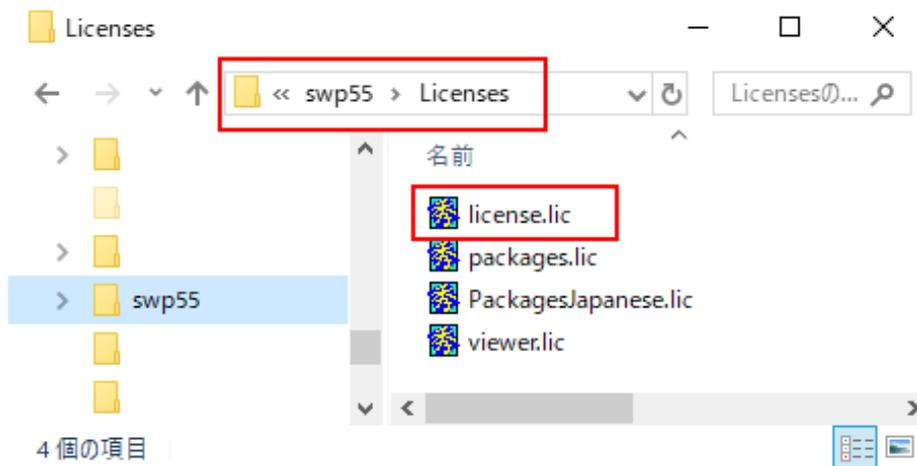
Your license file should now be installed. The next time you start the program, all features should be enabled. Select Help, System Features and a long list of features will be displayed when a valid license file is installed.

4. 画面中央に「****」で挟まれて記述されている「FEATURE」からシリアル番号の行までがライセンスファイルの内容になりますので、この部分をコピーしてからメモ帳などのテキストエディタを起動して貼り付けます。そして名前を付けて保存でファイル名を license.lic として、デスクトップなどに保存します。(メモ帳の場合は名前を付けて保存の画面で [ファイルの種類] で「すべてのファイル (*.*)」を選択します。)





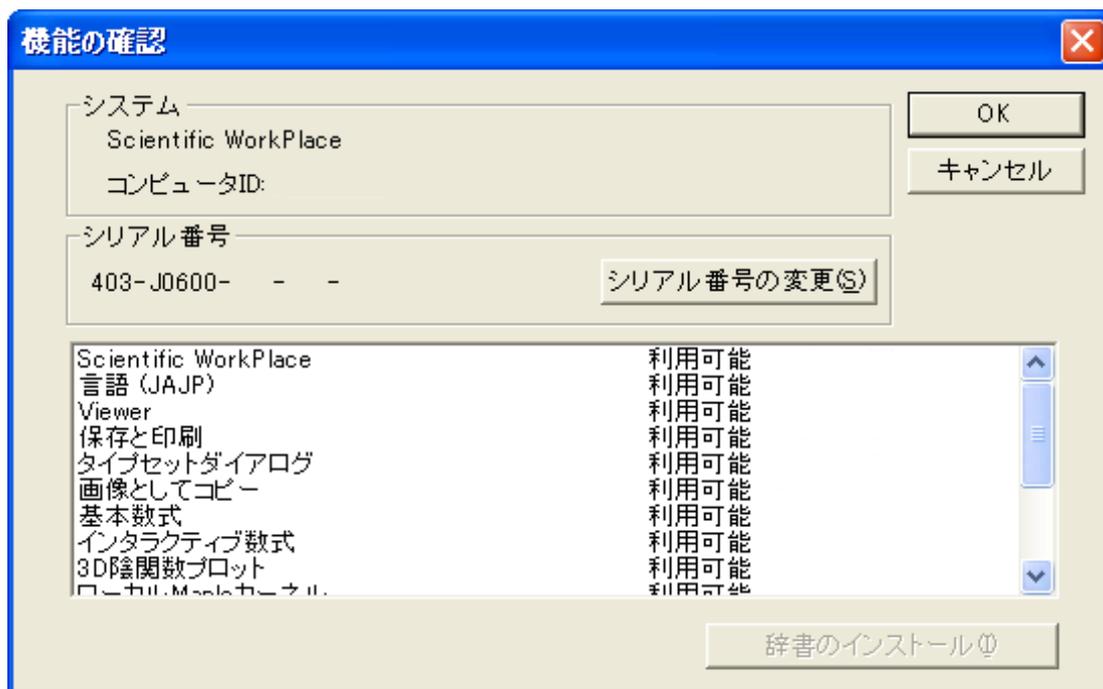
5. 手順4で作成したファイルをUSBメモリ等を使用してPC-BからPC-AのC:\swp55\Licenseフォルダに移動させます。



6. PC-AのSWPを起動して、起動時にライセンスファイルの取得を促すメッセージが表示されなければ完了です。

3.5 ライセンス状態の確認

ライセンスを登録してライセンスファイルが正常に取得されると、インストールした製品の全機能が利用可能な状態になります。製品を起動し、[ヘルプ]メニューから[機能の確認]を選択してください。ライセンスファイルを取得していない場合に比べてリストアップされる機能が増えています。



以上で SWP/SW/SN 本体のインストールは完了です。次のセクションで動作確認を行います。

4 Scientific WorkPlace, Scientific Word, Scientific Notebook 5.5J

本体の動作確認

SWP/SW5.5J 本体のみをインストールした時点では、欧文書用の英語タイプセットのみ行うことができます。

4.1 SWP/SW 英語文書用の動作検証

SWP/SW の英語文書タイプセットの動作検証を行います。（*Scientific Notebook* にはタイプセット機能がありませんのでこの作業は不要です。この次の項目へ進んでください。）

1. SWP または SW を起動します。
2. [ファイル] メニューの [新規作成] を選択し、表示されたウィンドウで「シェルフォルダ：Standard LaTeX」, 「シェルフファイル：Standard LaTeX Article」を選択して [OK] ボタンをクリックすると英語の見本文書が表示されます。
3. [タイプセット] メニューから [英語タイプセット] > [プレビュー] を選択します。
4. 自動的に TrueTeX DVI Previewer が起動して「The Title of a Standard LaTeX Article」というタイトルの文書が表示されたら正常に動作しています。TrueTeX DVI Previewer を閉じます。
5. 続けて [タイプセット] メニューから [英語タイプセット] > [PDF プレビュー] を選択します。
6. 自動的に Adobe (Acrobat) Reader もしくは Adobe Acrobat が起動して「The Title of a Standard LaTeX Article」というタイトルの文書が表示されたら正常に動作しています。Adobe (Acrobat) Reader もしくは Adobe Acrobat を閉じます。

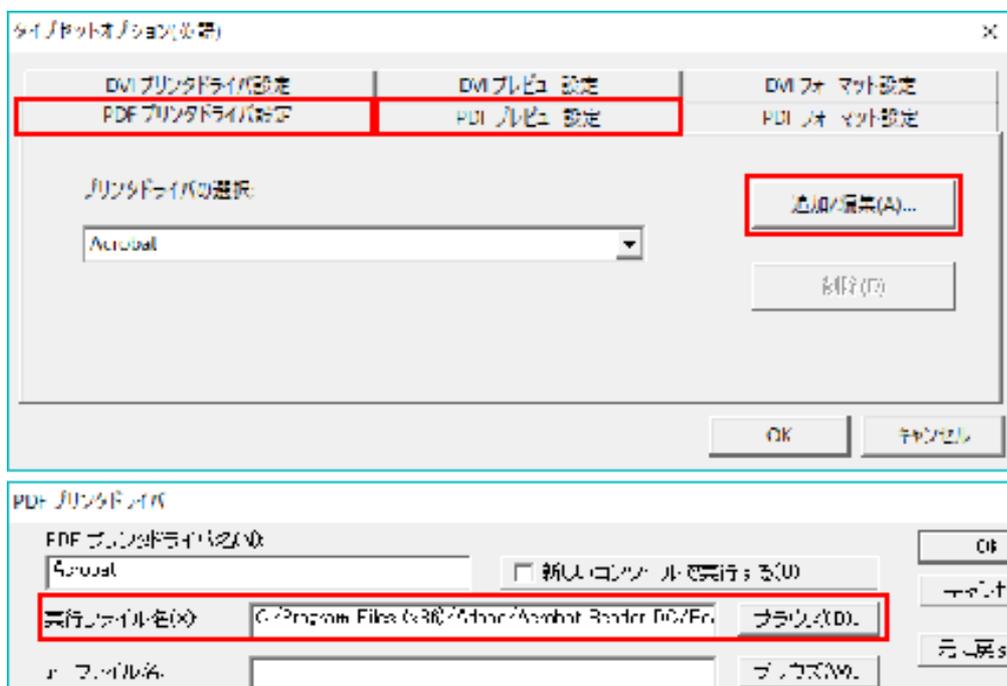
注意 8 ページに記載されている Adobe (Acrobat) Reader もしくは Adobe Acrobat のインストールを SWP/SW5.5J 本体のインストール前に行わなかった場合、[英語タイプセット] の [PDF プレビュー] でエラーが発生する場合があります。エラーが発生した場合の対処方法については

1. SWP/SW を終了します。
2. 8 ページの案内に従って Adobe (Acrobat) Reader をインストールします。
3. SWP/SW を起動し、[タイプセット] メニューの [英語タイプセット] で [上級設定] を選択して「タイプセットオプション」ウィンドウを表示します。
4. まず「PDF プリンタドライバ設定」タブを選択します。[追加/編集] ボタンをクリックし、「実行ファイル名」の項の横にある [ブラウズ] ボタンをクリックして、インストールした Adobe (Acrobat) Reader のプログラムを探して選択します。

プログラムのパスは Adobe Acrobat Reader DC の場合は以下の通りです。(プログラムのバージョンアップ等でパスやプログラムの名前が変更されている場合があります。インストールしたプログラムに合わせてください。)

C:/Program Files (x86)/Adobe/Acrobat Reader DC/Reader/AcroRd32.exe

5. [OK] ボタンをクリックします。
6. 次に「PDF プレビュー設定」タブについても同様の変更を行います。
7. 「PDF プリンタドライバ設定」タブと「PDF プレビュー設定」タブのどちらも設定が完了したら [OK] ボタンをクリックして「タイプセットオプション」ウィンドウを閉じます。



以上で SWP/SW5.5J 本体の動作検証は完了で、日本語文書を作成しない場合は以上ですべて完了です。日本語文書を作成する場合は次のセクションに進んでください。

4.2 SN 動作検証

[ファイル] メニューの [新規作成] から新しいファイルを作成し、文字や数式の入力、保存、印刷等が正常にできるか確認します。

5 p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) のインストールと動作検証

5.1 p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) のインストール

SWP/SW を用いて日本語文書のタイプセットを行う場合は、製品 CD-ROM より p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) をインストールする必要があります。

既に SWP/SW の旧バージョンの p^LA^TE_X や一般の p^LA^TE_X システム (W32T_EX や T_EXLive など) がインストールされている場合は、共存できませんのでそれらをアンインストールしてください。p^LA^TE_X のアンインストールについては次の項目を参照してください。

新規に p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) をインストールする場合は 5.1.2 項に進んでください。

5.1.1 p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) のアンインストール

1. バージョン 5.0J p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) からの移行

Windows のスタートメニューから「コントロールパネル：プログラムの追加と削除」を選択し、**WinForme** の削除を行ってください。WinForme がバージョン 5.0J の p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) です。なお、p^LA^TE_X がインストールされていたフォルダ（通常 c:\ptex）は形骸のみ残される結果となりますが、それはそのままにしておき、バージョン 5.5J 用の p^LA^TE_X を再度そこにインストールするのが賢明です。既存の p^LA^TE_X フォルダ内に種々のパッケージや文献目録用データベース等を独自に追加配置していた場合、それらの環境が自動的に引き継がれることになるからです。

2. バージョン 4.1J p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) からの移行

Windows のスタートメニューから「コントロールパネル：プログラムの追加と削除」を選択し、**pLogViewer** の削除を行ってください。pLogViewer がバージョン 4.1J の p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) です。なお、p^LA^TE_X がインストールされていたフォルダ（通常 c:\ptex）中に残されているユーザ固有のファイルについては個別に移行を検討する必要があります。

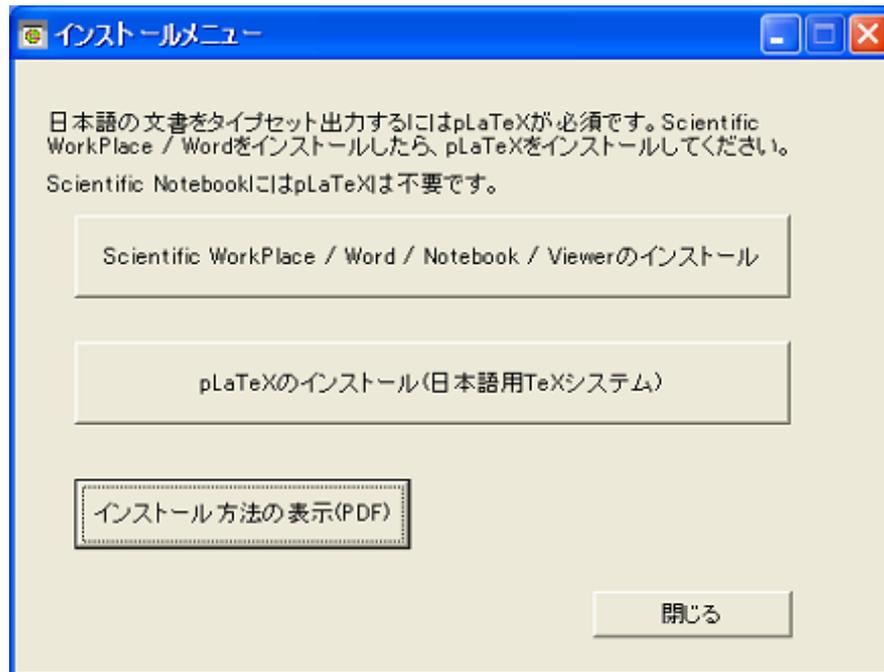
3. W32T_EX, T_EXLive からの移行

W32T_EX や T_EXLive などの一般的な p^LA^TE_X 環境がインストールされている場合には、ソフトウェアに付帯する readme ファイルや該当する書籍、あるいはウェブサイトの情報等を参照し、適切なアンインストール操作を行ってください。

5.1.2 p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) のインストール

ここでは p^LA^TE_X(日本語用 T_EX システム) のインストールを行います。

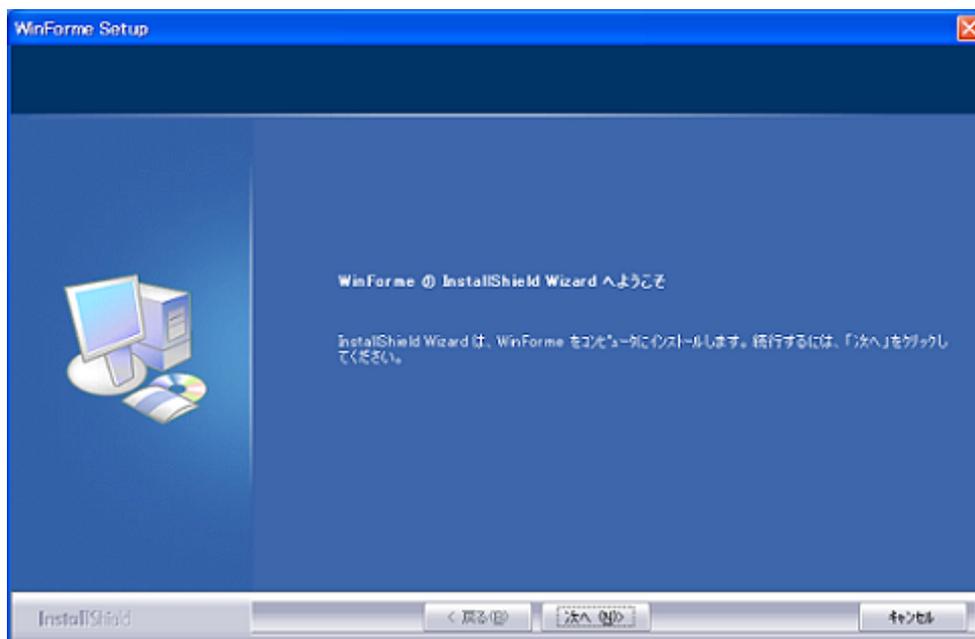
- 2 ページと同じ方法でインストールメニューを表示します。p^LA^TE_X のインストール（日本語用 T_EX システム）をクリックすると WinForme のインストーラが起動します。



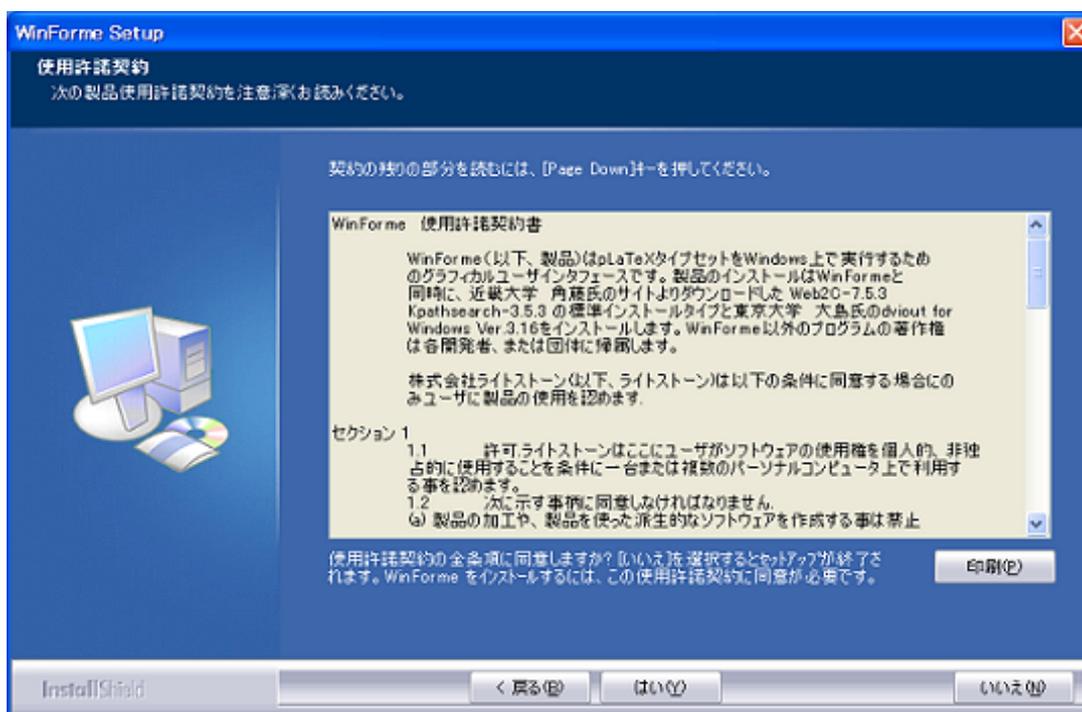
補足 WinForme とは Windows 上で pL^AT_EX を起動し、文書をタイプセットするためのユーザインターフェイスです。pL^AT_EX のエラーメッセージやログを確認する際に利用します。また T_EX ファイルのタイプセット出力結果である DVI ファイルの表示、DVI ファイルから PS ファイル、PDF ファイルへの変換なども可能です。WinForme の使用方法に関しては c:\ptex\manual フォルダにある WFmanual.pdf ファイルを参照してください。

2. 初期画面

インストーラが起動したら、最初のダイアログボックスで「次へ」のボタンをクリックします。

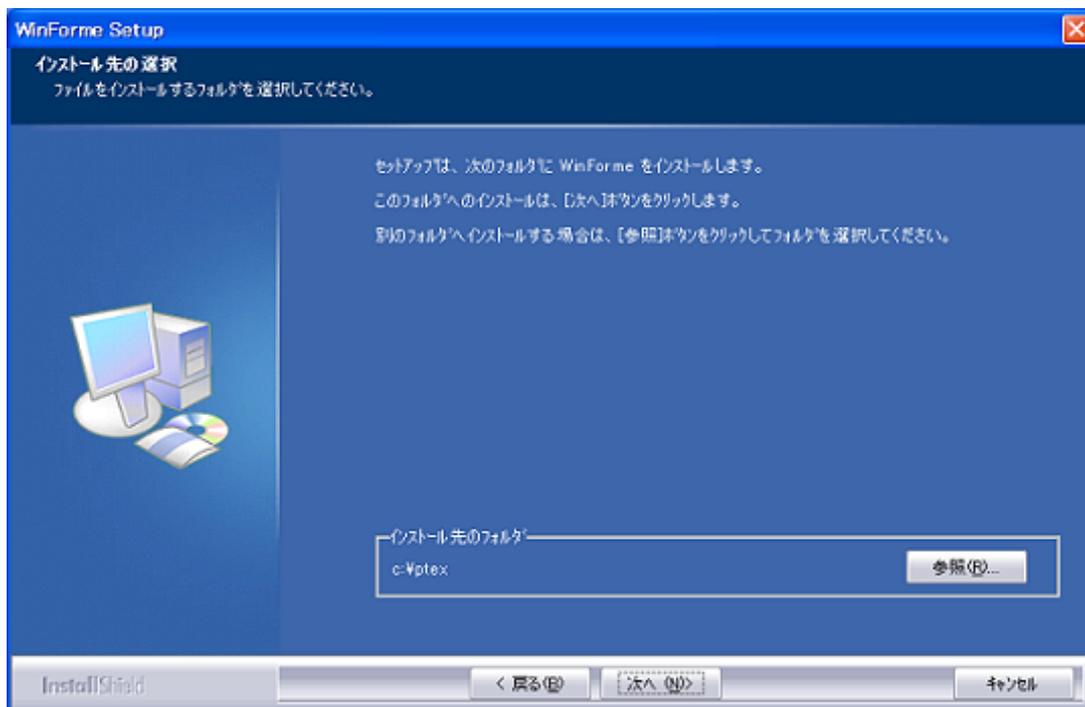


3. 一緒にインストールされる pLaTeX システムと dvi ファイルの閲覧ソフトウェアの dviout のリリース情報、WinForme の使用許諾条件の画面が表示されます。[はい] ボタンをクリックして次の画面へ進みます。



4. インストールフォルダの選択

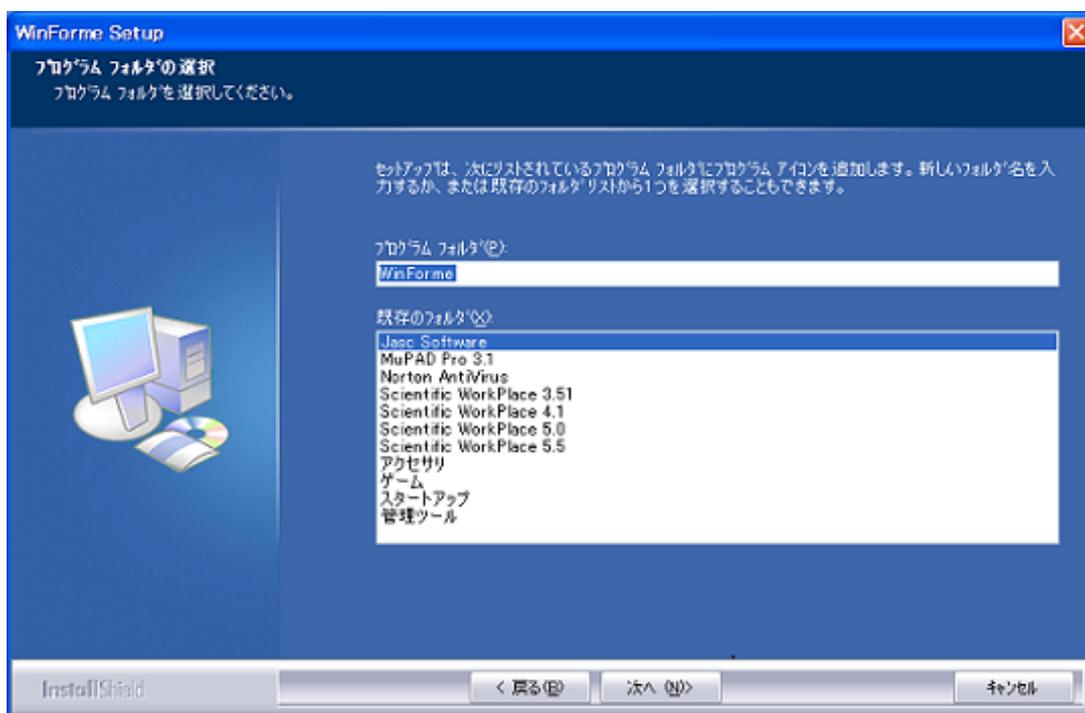
p \LaTeX のインストール先フォルダを指定します。通常はデフォルトのまま `c:\ptex` とします。



補足 p \LaTeX のインストールフォルダとして利用可能なフォルダ名およびファイル名は半角英数字とハイフン (-) のみです。半角スペースも使用不可能です。そのため「デスクトップ」や「マイ ドキュメント」, 「Program Files」などを選択することはできません。もしそれらのフォルダにインストールした場合は、インストール自体は正常に終了しますが p \LaTeX が正常に動作しませんのでご注意ください。

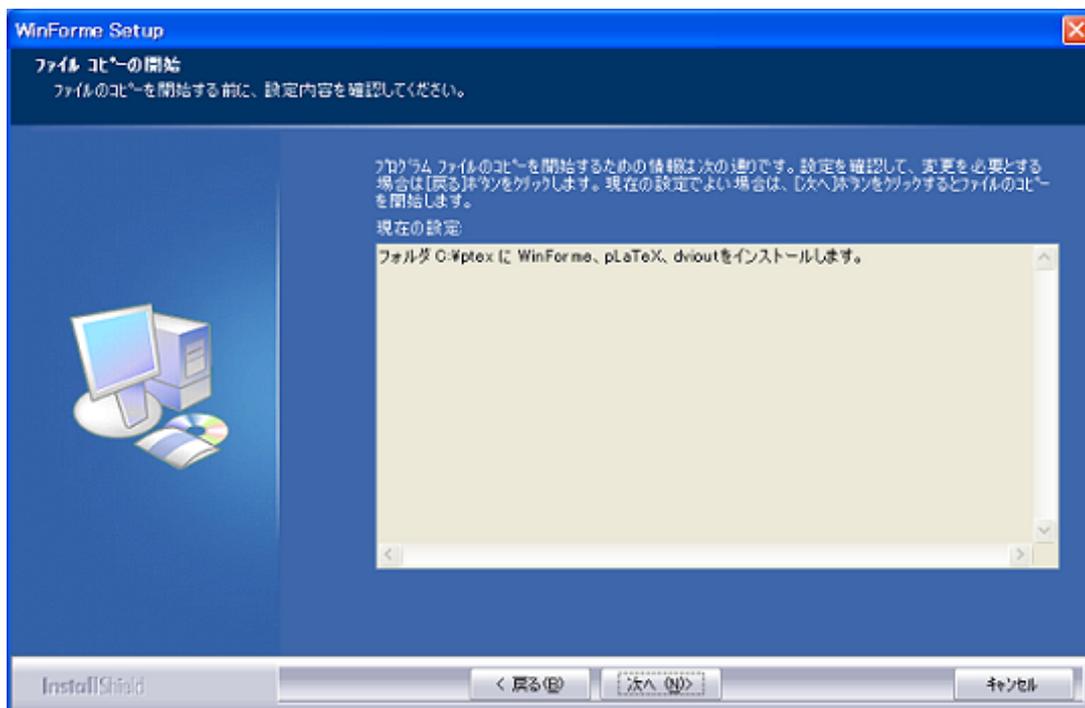
5. プログラムフォルダの選択

このダイアログボックスでは、Windows のスタートメニューにあるプログラムへ登録するフォルダ名を入力できますが、デフォルトの設定を推奨します。[次へ] ボタンをクリックします。実際のインストールが開始されます。



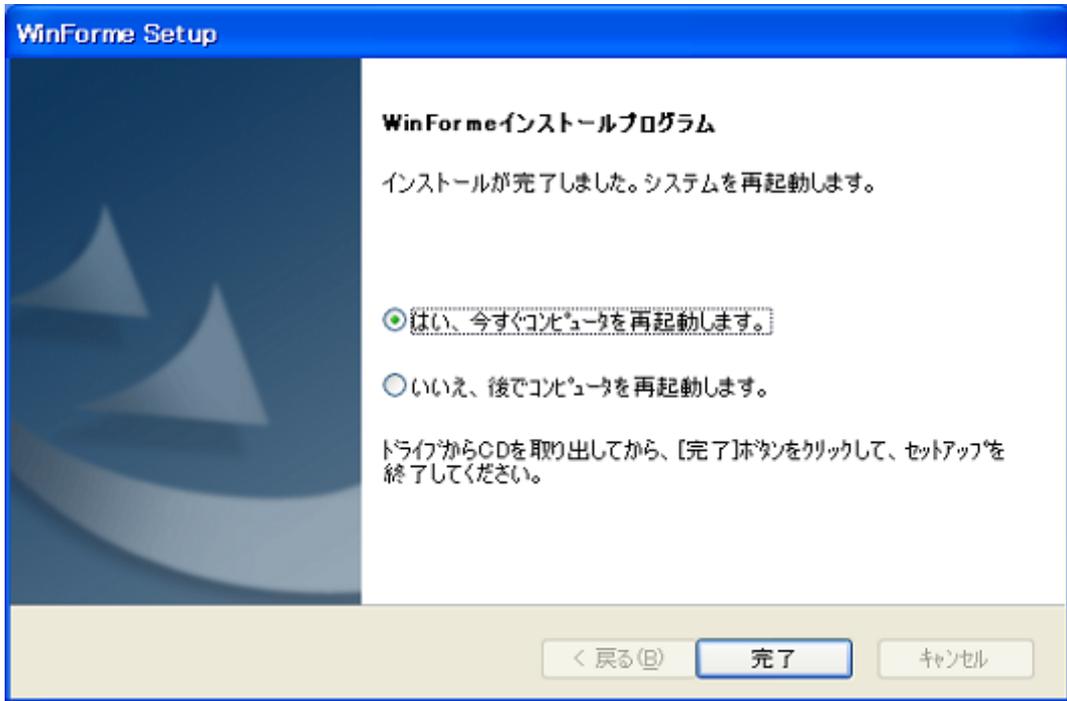
6. インストールされるファイルの内容

このインストールプログラムによってインストールされるファイルの内容を表示します。このダイアログボックスで [次へ] ボタンをクリックすると、プログラムのインストールが開始されます。



7. インストールの完了

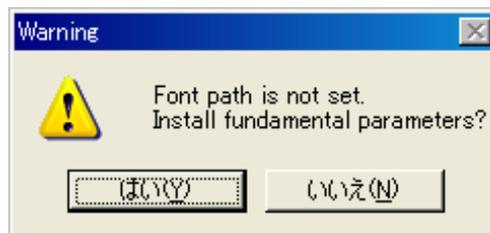
インストールが完了すると、PC の再起動を確認するダイアログが表示されます。画面の指示に従って操作し、PC を再起動してください。



5.2 dviout の初期設定

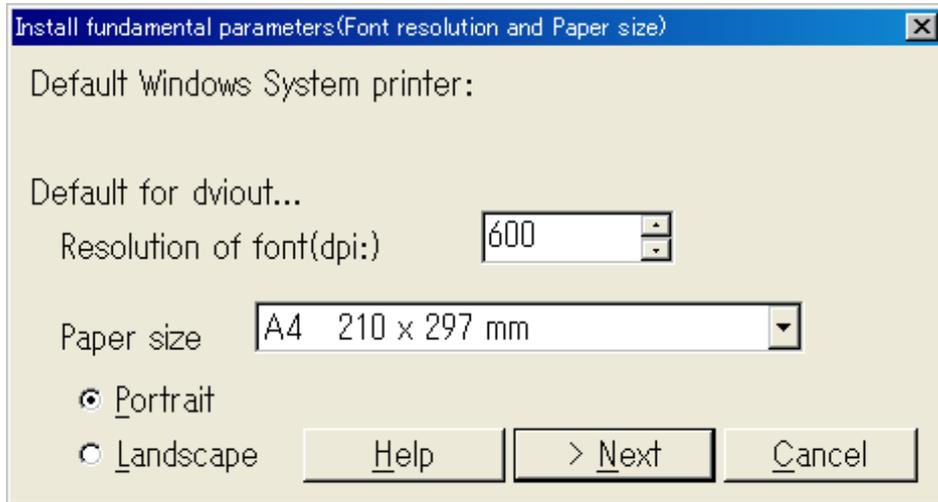
dviout は DVI 形式の出力ファイルを閲覧するソフトウェアです。日本語タイプセットのプレビューを行った際に使用します。

1. dviout を「管理者として実行」で起動します。dviout はスタートメニューの [すべてのプログラム] もしくはプログラムの一覧にある、「WinForme」もしくは「Scientific WorkPlace(Word) 5.5」フォルダに含まれています。「管理者として実行」については 6 ページを参照してください。
2. dviout を初めて起動すると次のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。

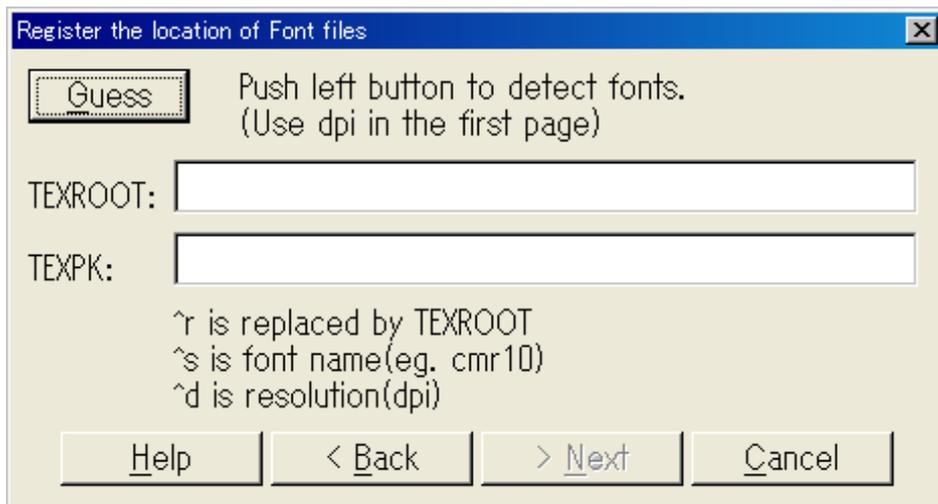


補足 メッセージが表示されなかった場合は、dviout の [Option] メニューから [Install] を選択すると以降のダイアログが表示されます。

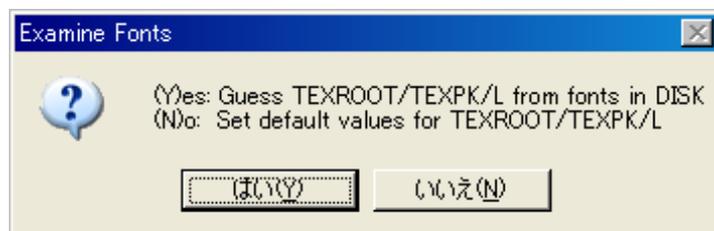
3. Font resolution and Paper size ダイアログボックスでは解像度を設定します。全てデフォルトのまま [Next] ボタンをクリックします。



4. Register the location of Font Files ダイアログボックスではフォントの設定を行います。

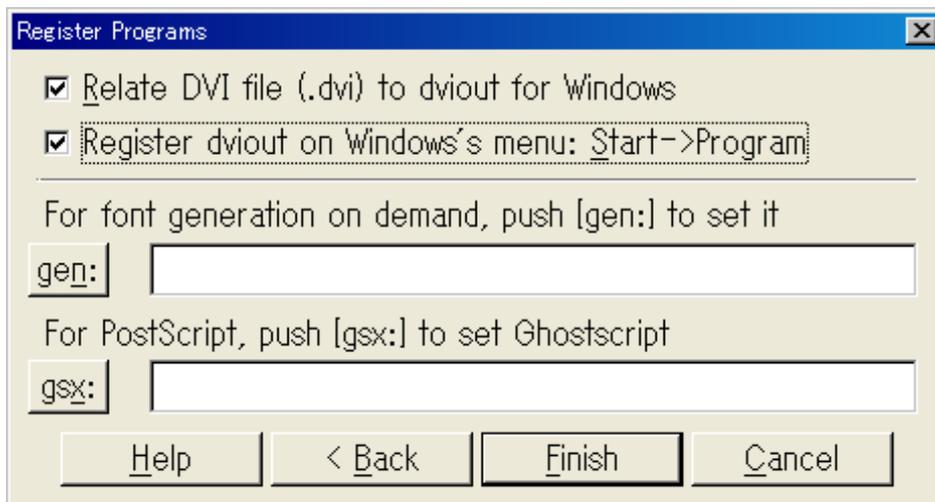


- (a) [Guess] ボタンをクリックします。
 (b) 次のメッセージが表示されますので、[いいえ] ボタンをクリックしてデフォルトの値を設定します。



- (c) [Next] ボタンをクリックします。

5. Register Programs ダイアログボックスでは DVI ファイルを dviout に関連付けたり, Windows のスタートメニューにあるプログラムへの登録などができます.



- (a) DVI ファイルを dviout に関連付けるには, **Relate DVI file(.dvi) to dviout for Windows** にチェックを付けます. 日本語文書を主に扱うユーザはこのチェックを付けることを推奨します.

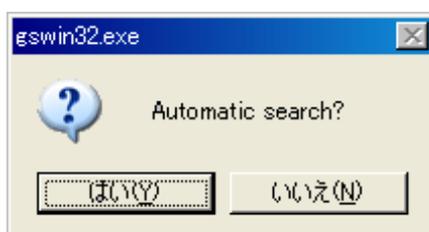
補足 .dvi ファイルを欧文用の TrueTeX と結び付ける操作については 13 ページを参照ください.

- (b) WinForme のプログラムフォルダとは別に, dviout 独自のプログラムフォルダを Windows のスタートメニューに登録するには, **Register dviout on Windows's menu: Start->Program** にチェックを付けます. このチェックを付けると WinForme フォルダとは別に dviout フォルダが登録されます.

- (c) フォントの自動生成機能を有効にするために, [gen:] ボタンをクリックします. 次のメッセージが表示されますので, [はい] ボタンをクリックします.



6. EPS 画像を扱うための Ghostscript をインストールしてある場合のみ, [gsx:] ボタンをクリックして Ghostscript を dviout に登録することができます. このボタンをクリックすると次のメッセージが表示されますので, 「はい」 ボタンをクリックします.



補足 Ghostscript をインストールしていない状態で [gsx:] ボタンをクリックしてしまった場合は [いいえ] をクリックします. Ghostscript や Susie Plug-in といった画像関連プログラムのインストールとそれに伴う dviout の設定については, 弊社ウェブサイト: SWP/SW Better Use <https://www.lightstone.co.jp/latex/kb0015.html> を参照ください.

5.3 Scientific WorkPlace / Scientific Word を使用した p \LaTeX (日本語用 \TeX システム) の動作検証

ここでは SWP/SW と p \LaTeX を連携させて日本語文書を作成できるか検証します。

1. SWP または SW を起動します。
2. [ファイル] メニューの [新規作成] を選択し、表示されたウィンドウで「シェルフォルダ：Standard LaTeX」, 「シェルファイル：Japanese Article[jsarticle]」を選択して [OK] ボタンをクリックすると日本語の見本文書が表示されます。
3. [タイプセット] メニューから [日本語タイプセット] > [プレビュー] を選択します。
4. 自動的に dviout が起動して「jsarticle shell の紹介」というタイトルの文書が表示されたら正常に動作しています。dviout を閉じます。
5. 続けて [タイプセット] メニューから [日本語タイプセット] > [PDF プレビュー] を選択します。
6. 自動的に Adobe (Acrobat) Reader もしくは Adobe Acrobat が起動して「jsarticle shell の紹介」というタイトルの文書が表示されたら正常に動作しています。Adobe (Acrobat) Reader もしくは Adobe Acrobat を閉じます。

注意 エラーが発生した場合は 24 ページの「注意」を参照し、日本語タイプセットの上級設定にて同様に設定してください。

5.4 日本語文書のタイプセット時の注意

5.4.1 保存形式について

欧文書用のドキュメントシェル (例えば article 等) をベースに文書を作成した場合、文書の保存形式は「SW/SWP/SN Document (*.tex)」がデフォルトとなります。この形式の場合、SWP/SW 固有の \LaTeX コマンド (\LaTeX マクロ) が有効な状態で文書が保存されるため、一般の \LaTeX システムでは文書が扱えなくなります。

一方、日本語文書用のドキュメントシェル (例えば jarticle 等) をベースに文書を作成した場合、文書の保存形式は「Portable LaTeX (*.tex)」がデフォルトとなります。日本語文書の保存に際して SWP/SW 形式を指定すると日本語タイプセット (p \LaTeX) でタイプセットできなくなるのでご注意ください。

5.4.2 文字コードについて

バージョン 5.5J では文書の保存に際して文字コード (ASCII や Japanese (Shift-JIS) など) の指定が行えます。

日本語文字は Japanese (Shift-JIS) しか対応しておりませんのでご注意ください。過去バージョンの SWP/SW や、他の \TeX システムで作った文書をバージョン 5.5J で扱う場合は、一度「5.4.4 既存の SWP/SW 文書の扱い」をご確認ください。

5.4.3 保存ファイル名と保存フォルダ名について

ファイル名とフォルダ名には半角英数字と“-”(ハイフン) のみを使用するようにしてください。

日本語などの全角文字や、スペース、アンダスコア (_) は使用できません。フォルダ名については、ファイルが置かれているフォルダだけでなく、そのフォルダを含んでいるすべてのフォルダが半角英数字と“-”(ハイフン) のみとなっているようにして下さい。

良い例： C:\swp55\Docs\sample.tex

悪い例： C:\Users\ ユーザ名 \Documents\Scientific WorkPlace\ 論文 1.tex

補足 SWP/SW ではこういった問題が起こらない作業場所としてインストールフォルダに「Docs」フォルダが用意されていますので、このフォルダをご利用ください。

5.4.4 既存の SWP/SW 文書の扱い

5.0 以前のバージョンを用いて作成された日本語 TeX 文書をバージョン 5.5J でタイプセットする場合には、一旦 **Portable LaTeX 形式, Japanese(Shift-JIS)** を指定して文書の保存操作を行ってください。これは pLaTeX にユニコードのまま文書が引き渡されてしまうのを避けるための措置です。

6 追加情報

6.1 PC の移行について

ライセンス許諾上、個人利用の場合は 3 台 (職場用、自宅用、モバイル用のノートパソコン) までインストール可能です。(2 台、3 台と複数台を同時に起動して使用することはライセンス許諾違反となります。)

PC の故障や交換などで SWP/SW/SN を使用する PC を変更する場合は、まずは新しい PC でインストールとライセンスファイルの取得をお試しく下さい。ライセンスファイルの取得が無事に行えれば、そのままお使いいただけます。弊社や開発元などへのご連絡は不要です。古い PC で SWP/SW/SN を起動できる場合はその PC から SWP/SW/SN をアンインストールしてください。年に数回 PC を交換する程度のライセンスファイルの取得回数の場合は一般的な使用範囲ですので、問題なくライセンスファイルを取得できるはずです。

短期間に大量の PC でライセンスファイルを取得しようとするなど明らかな異常を検知した場合は、ライセンスファイルの取得で登録超過を意味する「サーバーからエラー (15) が送信されました」といったメッセージが表示される場合があります。大量に取得しようとしていないにもかかわらずこのメッセージが表示されてしまう場合は開発元のサポート (英語対応のみ) へお問い合わせください。以下の情報を英語で必ず記載してください。

開発元のサポート用 E メールアドレス (英語対応のみです) : support@mackichan.com

- 製品名とバージョン :
例) Scientific WorkPlace 5.5J
- シリアル番号 :
例) 400-J0600-x x x x x-x x x x x-x x x x x
- 表示されたエラー番号 :
例) Error(15)
- 希望する対応内容 :
例) I want to register my SWP, but SWP shows error 15. Could you send me license file for my SWP?
- ライセンスファイルを取得したい PC の登録申請用ファイル `register55.txt` を添付 ※19 ページを参照。

処理に古い PC や現在使用中の SWP/SW/SN のライセンスファイルが必要となる場合があります。ライセンスファイルは「license.lic」という名前のファイルで、インストールフォルダが標準設定の場合は下記の場所に保存されています。

SWP5.5	C:\swp55\Licenses
SW5.5	C:\sw55\Licenses
SN5.5(32bitOS の場合)	C:\Program Files\Scientific Notebook\Licenses
SN5.5(64bitOS の場合)	C:\Program Files (x86)\Scientific Notebook\Licenses

6.2 WMF2EPS

重要！ WMF2EPS は Windows 8 以降の Windows には対応していません。

5.5J ではポータブル L^AT_EX 形式でファイルを保存する際に、WMF ファイル (Windows メタファイル) を EPS ファイル (Encapsulated PostScript ファイル) へと自動的に変換する WMF2EPS というユーティリティをプログラムと連動させるオプションがあります。この機能により、文書中に作成した WMF 形式のプロットやインポートした WMF ファイルを自動的に EPS 形式に変換します。文書中でのファイル名も `abcde.wmf` から自動的に `abcde.eps` に変換されます。WMF2EPS は Windows 7 では使用できますので、Windows 7 で使用したい場合は次のウェブサイトを参照してください。

https://www.lightstone.co.jp/latex/product_wmf2eps.html

7 テクニカルサポート

Scientific WorkPlace (SWP) , *Scientific Word* (SW) および *Scientific Notebook* (SN) のバージョン 5.5(日本語と英語の両方) の株式会社ライトストーンでのサポートは 2019 年 9 月 30 日をもって終了となりました。

今後は電話, FAX, E メールでお問い合わせいただいても回答いたしません。

Scientific シリーズのソフトウェアの操作方法で不明な点がある場合は、各マニュアルの PDF をご覧ください。

LaTeX の仕様で不明な点がある場合は、市販の LaTeX に関する書籍やインターネットで公開されている一般の記事等を検索してお調べください。

発行：

株式会社ライトストーン

〒101-0031

東京都千代田区東神田 2-5-12

龍角散ビル 7F